■保証について

〈保証内容のご確認とお願い〉

●この取扱説明書（本書とする）は、記載内容（無料修理規定）に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、本書と「ご購入明細書」の両方が必要になります。
お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、本書とともに大切に保管してください。
※「ご購入明細書」とは、商品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書（製品明細の記載があるもの）」のことです。

〈保証期間について〉

●保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度･構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間（週5日として1日8時間）の労働時間を想定しています。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。

お客様の個人情報の利用について	ご購入明細書に記入されている、お客様の個人情報は保証期間内の修理・交換活動にのみ使用し、それ以外の目的に利用したり、第三者に提供することは一切ございません。

〈無料修理規定〉

1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。
その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本商品と同等の機能部材を使用する場合があります。また、弊社の判断により商品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室へご相談ください。

3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。

4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承願います。
(イ)本書、およびご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日･お客様名･販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ)消耗部品（弊社指定部品）の交換
(ニ)第三者から転売･譲渡を受けた場合
(ホ)火災･水害･塩害･ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ)故意･過失に関係なく、使用上の誤りによる故障または破損
(ト)加工･改造、不当な修理による故障または破損
(チ)屋外･温浴施設･プールなどで使用された場合の故障または破損
(リ)使用上の消耗により発生する異音などの現象変質またはさび･かびの発生
(ヌ)外観の傷･へこみ･変形や再現のできない不良
(ル)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象（におい、音鳴りや振動など）

5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店、またはお客様相談室までご相談ください。

6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。

7.本書およびご購入明細書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

コクヨファニチャー株式会社

本社オフィス　〒537-8686　大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
TEL (06) 6976-1221（大代表）
ホームページURL　http://www.kokuyo.co.jp

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル（全国共通）
お客様相談室　0120-201594
お客様相談室FAX　0120-060660

12K1322SE

KOKUYO

取扱説明書

UFXシリーズ

BWZ-□□□□□□

**このたびはコクヨ商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。**

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

もくじ

1.安全上のご注意 …… 1
2.末永くご使用いただくためのご注意 … 4
3.使いかた …… 5
4.配線のしかた …… 18
5.お手入れのしかた …… 19
6.故障かな?と思ったら（不調診断）…… 19
7.基本本体の組み立てかた …… 20
8.オプション類の組み立てかた …… 29
9.セパレートシステムの組み立てかた … 37
10.用途転換対応パーツの組み立てかた … 42
11.棚板の取り付けかた …… 44
12.組立後の確認 …… 45
13.キャップ類の取り付けかた …… 46

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告　取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意　取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

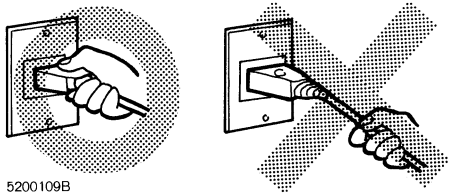
- **コンセントに接続する機器は、定格消費電力合計が1500W以内で使用してください。**
  これを超えると、異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。
- **お客様で、解体や移設・レイアウト変更をしないでください。**
  組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
- **転倒防止金具は、絶対に外さないでください。**
  転倒によって、けがをする原因になります。
- **本体を並べて使用する場合は、上下・横連結がされているかご確認ください。連結されていない場合は使用せず、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
- **ラテラルキャビネット・雑誌架・両開き扉（D350タイプ）は単体で使用せず、必ず2台以上で連結してください。単体でのご使用となる場合は、転倒防止対策を行ってください。**
  転倒によりけがをするおそれがあります。転倒防止対策は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **引き出しに収納するときは、各引き出しにバランスよく収納してください。**
  上段や手前だけに偏った収納をすると、引き出したときに転倒するおそれがあります。
- **引き出しは、一段ずつ引き出してください。**
  同時に二段以上引き出すと、転倒のおそれがあります。
- **商品を廃棄するときは、焼却しないでください。**
  有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。
  商品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。
  - **この商品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってご使用ください。**
  - **この商品をご使用になる室内が著しく高温多湿（温度28℃、相対湿度50%超が目安）になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。**
- **乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。**
  けがや破損の原因になります。

- **設置の際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。**
  前傾した状態で設置すると、扉が開いたり、引き出しが流れ出たり、本体が倒れてきて、けがをする原因になります。
- **運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
  転倒や破損により、けがをする原因になります。
- **ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。**
  やけどや火災の原因になります。
- **可動部のすき間に手や指を入れないでください。**
  けがをする原因になります。
- **使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
  けがをする原因になります。
- **棚爪は、4カ所とも同じ高さに取り付け、爪が側板に確実に入っていることを確認してください。**
  棚板やのせているものが落下するおそれがあります。
- **扉や引き戸、引き出しの開閉はゆっくり行い、手や指、衣服をはさまないように注意してください。**
  勢いよく行うと、けがや破損の原因になります。
- **引き出しやトレーは、ゆっくり引き出してください。**
  強く引き出すと、ストッパーの乗り越えや破損によって引き出しが抜け落ち、けがをするおそれがあります。
- **引き出しを引き出した状態で、上から押さえたり、重いものをのせないでください。**
  転倒や破損してけがをする原因になります。
- **扉を開いた状態で、上から押さえたり引っ張ったりしないでください。**
  転倒や破損してけがをする原因になります。
- **貴重品を入れないでください。**
  簡易施錠ですから、工具などによる破壊には耐えられません。
- **扉や引き戸、引き出しを施錠するときは、すべての扉や戸、引き出しが完全に閉まっていることを確認してから施錠してください。**
  扉や戸、引き出しが少しでも開いていると、キーが回っても施錠されない場合があります。
- **商品の上に立ち上がったり、腰を掛けないでください。また、もたれかかったり、ぶら下がらないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
  転倒や転落により、けがをする原因になります。
- **ダブルロックユニット天板にものをのせないでください。**
  変形や破損により、けがをする原因になります。
- **棚板に登らないでください。**
  棚板が外れたり、本体が倒れて、けがをする原因になります。
- **上置きの開き扉を開けたまま、下置きの収納部を使用しないでください。**
  立ち上がったときに、頭をぶつけてけがをする原因になります。
- コンセントについては、以下の内容を守らないと、感電やショート・火災の原因になります。
  - **温度・湿度の高い場所では使用しないでください。**
  - **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。**

- **電源プラグは、刃の根元までしっかり差し込んでください。**
- **電源プラグに、ホコリが付いた状態で使用しないでください。**
- **コンセントの差し込み口に、異物やゴミが入らないようにしてください。**
- **電源プラグは、必ずプラグを持って抜いてください。**



- **暖房器具など火気を近づけたり、熱風を当てないでください。**
- **コンセントや配線に水がかからないように注意してください。**
- **コンセントや配線に洗剤や殺虫剤をかけないでください。**
- **コードを止め金などで固定して使用しないでください。**
- **コードをたばねて使用しないでください。**
- **コードの上に重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。**
- **コードを敷物の下にして使用しないでください。**
- **コードを無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。**
- **コードが傷ついたままで使用しないでください。**
- **コンセントが破損したり、外れかけた状態で使用しないでください。**
- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **コンセント部やプラグ部などの分解や改造をしないでください。**
- **コードをワゴンなどで踏み付けないでください。**

● **可動部に注油しないでください。**
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。

● **商品の分解や改造はしないでください。**
けがや故障の原因になります。

● **ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。**
本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。

● **溶接外れやリベットのゆるみ、アジャスターやキャップ類の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。**
そのまま使用していますと、商品の破損により、けがをするおそれがあります。

● **棚板などが変形した状態で使用しないでください。**
落下や転倒などにより、けがをする原因になります。

● **ガラスにきずや欠けが生じたときは、すぐに取り替えてください。**
そのまま使用していますと、破損しやすくなり、けがをするおそれがあります。

● **商品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。**
誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。

● **この商品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。**

2.末永くご使用いただくためのご注意

● この商品は室内または屋内用です。
屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・変色の原因になります。

● 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
変色や変形のおそれがあります。

● 棚板や引き出し・トレーには、耐荷重（下表数値）を超えてものをのせたり、入れたりしないでください。
故障や変形の原因になります。
均等にのせたときの1段（1個）当たりの耐荷重

棚板		W900	490N[約50kgf]
		W800	441N[約45kgf]
スライドボックスの棚板		49N[約5kgf]	
スライドボックス全体		294N[約30kgf]	
引き出し ※H1020、3段引き出しタイプ		W900	490N[約50kgf]
		W800	441N[約45kgf]
トレー	A4浅型	9.8N[約1.0kgf]	
	A4深型	21.6N[約2.2kgf]	
	A4極深型	21.6N[約2.2kgf]	
	A3浅型	21.6N[約2.2kgf]	

● 収納物が棚板からはみ出さないようにしてください。また、トレーも確実に収納してください。
扉・引き戸の開閉や施錠の妨げになったり、トレーの破損・故障のおそれがあります。

● 収納物が引き出しの後部や側面からこぼれ落ちないようにしてください。
引き出しの開閉や施錠の妨げになったり、故障や破損のおそれがあります。

● 扉や引き戸、引き出しを開けたままで、キーを施錠位置にして、閉めないでください。
鍵がかかってしまったり、施錠装置が破損する原因になります。

● キーを持って扉や引き出しを開閉しないでください。
商品が傷ついたり、鍵が破損する原因になります。

● 扉を開くとき、キーが隣の収納庫に当たらないように注意してください。
商品が傷ついたり、鍵が破損するおそれがあります。

● キーに無理な力を加えて回さないでください。
鍵が破損する原因になります。

● シリンダー錠の鍵穴に、油や粘度のある液体を入れないでください。
誤動作の原因になる場合があります。

● スペアキーは、施錠する本体の中には入れないでください。
万一の紛失に備えて、必ず別の所に保管してください。

● キーを紛失したときは、鍵番号を確認の上、お買い上げの販売店へ合い鍵の作成をご注文ください。鍵番号は、鍵穴の周辺に刻印されています。

● 使用開始後、引き出しや棚板に収納したものの重量や床の状態により、本体にゆがみが出て、扉や引き出しと本体とのすき間が目立ったり、こすれてきたりすることがあります。そのときは再度、本体のレベルを調整してください。（㉗ページ〈レベル調整〉参照）

● ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3.使いかた

1 付属品

ご使用前に、付属品の数を確認してください。

タイプ / 付属品の種類	オープン 2列オープン・多目的ユニット・雑誌架・多目的ドック	トレーユニット	引き戸付きトレーユニット	両開き扉・両開き扉常時ロック・ガラス両開き扉・片開き扉・2枚引き違い戸・3枚引き違い戸・ラテラル・ラテラルオープン・ラテラル常時ロック・スライドユニット・メディアユニット・キッチンユニット・ロッカー・PC管理ユニット集中管理	ラテラル3段ダブルロック	ノートPC個別管理ユニット
キー	—	—	2種各2	2	2種各2	8種各2
名指しラベル	—	1セット	1セット	—	—	—
縦仕切り	—	—	—	※1段各2	中・下段各2	—
取扱説明書	1	1	1	1	1	1

※は、L1、L2、M1、M2引き出しのみ

タイプ / 付属品の種類	ラテラル個別ロック	磁気カードリッジユニット	3人用ロッカー	パーソナルロッカー	パーソナルロッカー・ノートPC集中管理ユニットダイヤルロック・ノートPC個別管理ユニットダイヤルロック	パーソナルロッカーダイヤルロック/メールボックス付き	ノートPC個別管理ユニットダイヤルロック/メールボックス付き
キー	3種各2	2	3種各2	4種各2 (2種各2)	—	—	—
1/2磁気カードリッジトレー	—	15	—	—	—	—	—
鏡	—	—	3	—	—	—	—
傘立て	—	—	3	—	—	—	—
滴受け	—	—	3	—	—	—	—
メールボックス	1段各2	—	—	—	—	4(2)	8
取扱説明書	1	1	1	1	1	1	1

( )は、2人用パーソナルロッカーのみ

2 鍵の使いかた（常時ロックタイプを除く）

鍵の状態（かけた・かけていない）を、鍵穴の表示窓で色表示します。
引き出しは、オールロック機構により、すべての引き出しが同時に施錠・解錠されます。

〈鍵のかけかた（施錠）〉

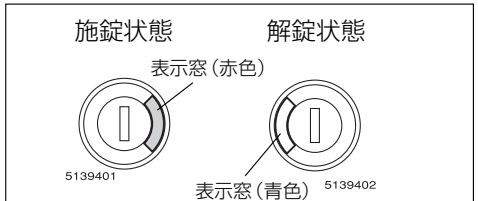
鍵穴にキーを差し込み、時計回りに180°回すと表示窓が赤色になり、鍵がかかります。

〈鍵の開けかた（解錠）〉

鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに180°回すと表示窓が青色になり、鍵が開きます。

〈扉開閉時のご注意〉

施錠・解錠した後は、必ずキーを抜いてから扉を開閉してください。



※表示窓の位置が本体の種類によって異なる場合がありますが、どの場合も施錠状態を赤色、解錠状態を青色で表示します。

〈PC管理ユニットシリンダー錠タイプの場合〉

鍵は約135°しか回りません。
また、施錠時のみキーが抜けますので、常時、収納庫を施錠し、必要時のみ解錠して使用してください。

〈ご注意〉

以下の内容を守らないと、商品が傷ついたり、鍵が破損することがあります。

- キーに無理な力を加えて回したり、ひっぱったりしないでください。
- 施錠後は必ずキーを抜いてください。
- 扉を開くとき、キーが隣の収納庫に当たらないように注意してください。

3 常時ロックタイプの使いかた

（両開き下置き（H1020・H2040タイプ）、両開き上置き（H1020タイプ）、ラテラル3段（H1020タイプ）のみ）

常時ロックタイプの施錠方法には、「**常時ロックモード**」と「**ノーマルロックモード**」の2種類があります。
施錠管理する書類量の増減やオフィスレイアウトの変更に対応して「**常時ロックモード**」と「**ノーマルロックモード**」を切り替えて使用できます。

※どちらのモードでも大型の開閉表示窓により、施錠状態を一目で確認していただけます。

※出荷時は「**ノーマルロックモード**」に設定されています。

〈常時ロックモードについて〉

- 解錠時にはキーが抜けず、扉を閉めて施錠するとキーが抜けますので、施錠忘れを防ぐことができます。
- 以下のような運用に適しています。
  - ・常時、収納庫を施錠し、必要時のみ解錠して使用する場合。
  - ・キーの管理者を決めて、施錠管理する場合。

〈ノーマルロックモードについて〉

以下のような運用に適しています。

- 常時、収納庫を解錠状態で使用する場合。
- 出社時に解錠し、退社時に施錠する場合。

〈ご注意〉

以下の内容を守らないと、商品が傷ついたり、鍵が破損することがあります。

- 常時ロックモードとノーマルロックモードでは、解錠時の鍵の回転範囲が異なりますので、キーに無理な力を加えて回さないでください。
- 常時ロックモードの施錠後とノーマルロックモードの施解錠後は、キーを抜いてください。
- 常時ロックモードの解錠時は、キーを持って扉や引き出しを開閉したり、扉を開くとき、キーが隣の収納庫に当たらないように注意してください。

〈鍵のかけかた（施錠）〉

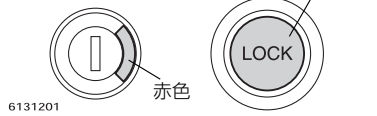
鍵穴にキーを差し込み、時計回りに止まるまで回すと開閉表示窓が「**LOCK**」(赤色)になり、鍵がかかります。

〈鍵の開けかた（解錠）〉

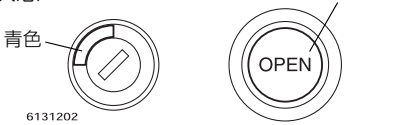
鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに止まるまで回すと開閉表示窓が「**OPEN**」(青色)になり、鍵が開きます。

常時ロックモードの場合

施錠状態　開閉表示窓「**LOCK**」（赤色）



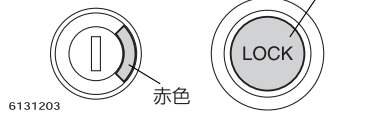
解錠状態　開閉表示窓「**OPEN**」（青色）



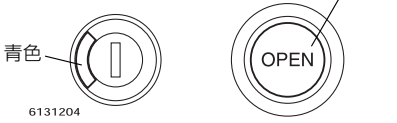
※鍵穴の表示窓の位置が本体の種類によって異なる場合がありますが、どの場合も施錠状態を赤色、解錠状態を青色で表示します。

ノーマルロックモードの場合

施錠状態　開閉表示窓「**LOCK**」（赤色）



解錠状態　開閉表示窓「**OPEN**」（青色）

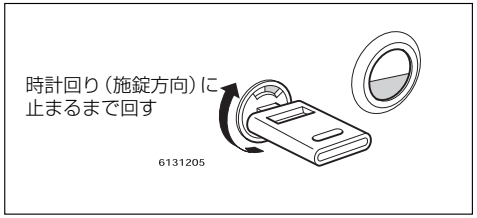


※鍵穴の表示窓の位置が本体の種類によって異なる場合がありますが、どの場合も施錠状態を赤色、解錠状態を青色で表示します。

〈常時ロックモードに変えるとき〉

1.ノーマルロックモードで解錠状態にして、扉を開いて（⑧ページ4参照）ください。

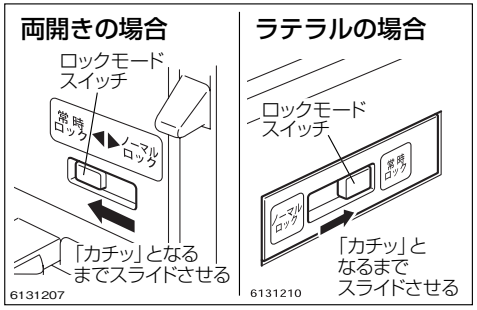
2.キーを「**施錠方向**」に止まるまで戻してください。



〈ご注意〉

キーに無理な力を加えて回さないでください。鍵が破損することがあります。

3.扉裏面または上段引き出し内側のロックモードスイッチを「**常時ロック**」側に「カチッ」となるまでスライドさせてください。



〈ご注意〉

ロックモードスイッチは、いっぱいまでスライドさせてください。

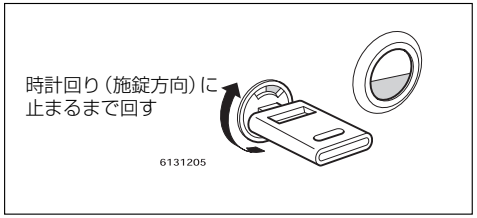
途中で止めると、動作が不完全になり、施錠されなかったり故障の原因になります。

4.キーを「**解錠方向**」に止まるまで回してください。

〈ノーマルロックモードに変えるとき〉

1.常時ロックモードで解錠状態にして、扉を開いて（⑧ページ4参照）ください。

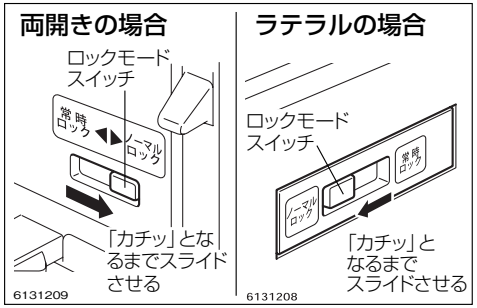
2.キーを「**施錠方向**」に止まるまで戻してください。



〈ご注意〉

キーに無理な力を加えて回さないでください。鍵が破損することがあります。

3.扉裏面または上段引き出し内側のロックモードスイッチを「**ノーマルロック**」側に「カチッ」となるまでスライドさせてください。



〈ご注意〉

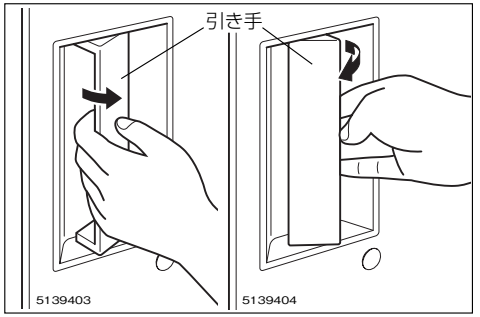
ロックモードスイッチはいっぱいまでスライドさせてください。

途中で止めると、動作が不完全になり、施錠されなかったり故障の原因になります。

4.キーを「**解錠方向**」に止まるまで回してください。

4 扉の開きかた（扉付きのみ）

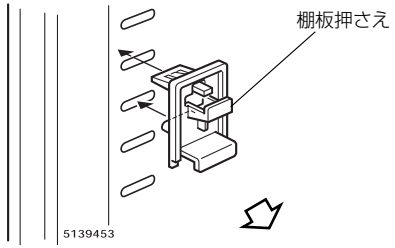
扉の引き手は、左右どちらにも回転します。引き手に手を掛けて開いてください。



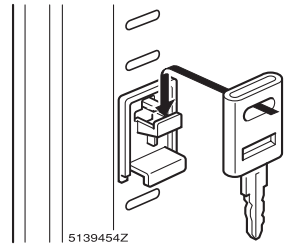
5 棚板押さえの使いかた
（ラテラル・雑誌架・トレーユニット・多目的ドックを除く）

棚板押さえは、図のように本体内側に取り付けてフックや鍵ホルダーとして使用できます。

※外しかたは、㉓ページの「**3**」を参照。

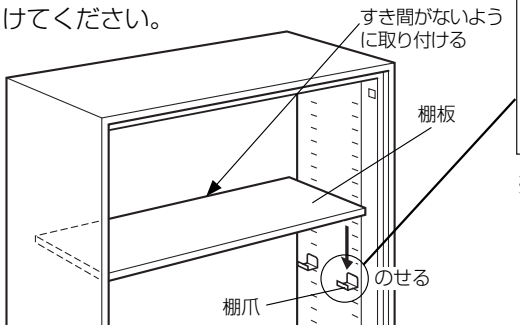


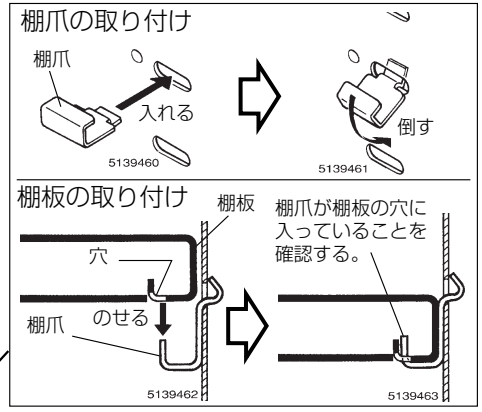
鍵ホルダーとして使用できる



6 棚板の高さ調節のしかた
（トレー・ラテラル・雑誌架を除く）

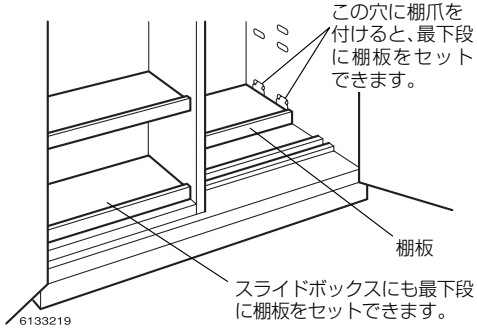
棚板は23.4㎜ピッチで高さ調節できます。
調節は、棚板になにものせていない状態で行ってください。
棚板を外した後、棚爪をご希望の高さに付けてください。



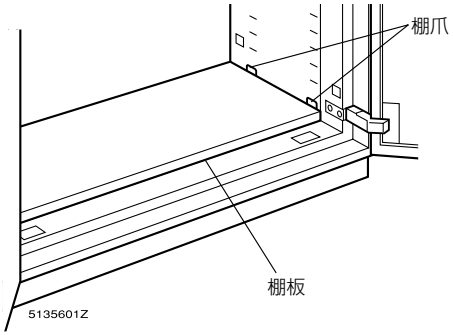


⚠注意
棚爪は、4カ所とも同じ高さに取り付け、爪が側板に確実に入っていることを確認してください。
棚板やのせているものが落下するおそれがあります。
〈取付時のご注意〉
棚板と本体背板の間にすき間がないように取り付けてください。
扉付きタイプの場合、扉を閉じたときに棚板と当たって、変形や破損の原因になります。

※スライド・メディア・磁気カートリッジユニットの奥列には、図のように棚板を最下段にセットできます。



※ノートPC管理ユニットの場合は、図のように棚板を最下段にセットしてください。



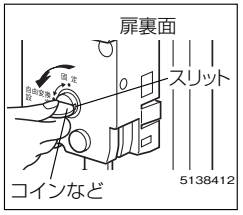
7 レベル調整のしかた
本体のレベル調整は、㉗ページの〈レベル調整〉を参照して行ってください。

8 パーソナルロッカーの使いかた

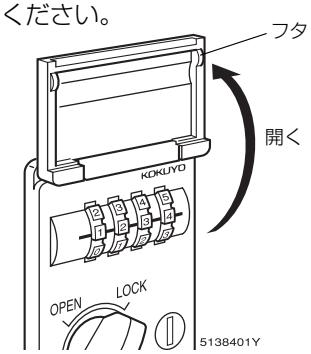
1.暗証番号の設定方法について
この商品には、2通りの暗証番号設定方法があります。用途に合わせて選んでください。
各扉裏面のスリットで設定できます。
※出荷時は、暗証番号を0000で「固定」に設定されています。
「固　　定」…任意で決めた1つの暗証番号でのみ、扉の施錠・解錠ができます。
設定方法を変えないと、暗証番号の変更はできません。
「自由変換」…施錠時に暗証番号を任意で変更することができます。

2.扉の施錠（閉めかた）
操作部のダイヤル数字で、4桁の任意の暗証番号が設定できます。

1.扉を開けて、ツマミが「**OPEN**」位置になっていることを確認し、スリットをコインなどで回して「**自由変換**」に設定してください。

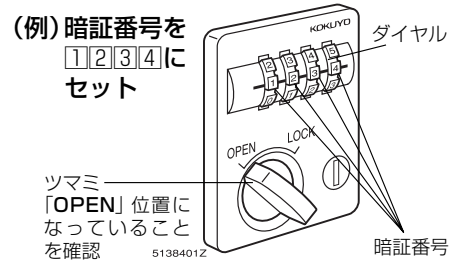


2.フタ付きタイプの場合は、フタを開いて操作してください。

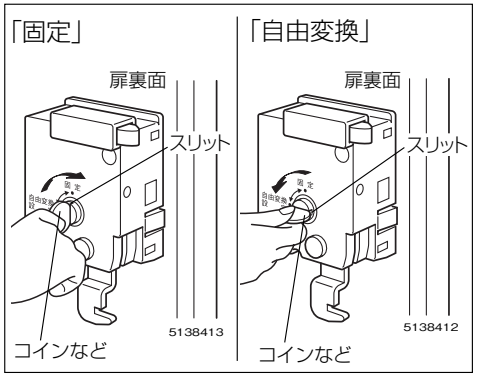


3.任意の暗証番号（4桁）を、ダイヤルを回して表示窓に出してください。

（例）暗証番号を1234にセット

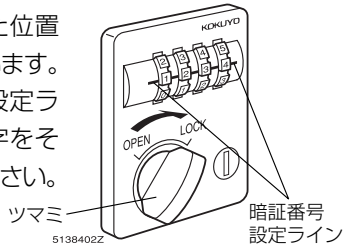


4.扉を開け、スリットをコインなどで回して、暗証番号の設定方法（前項「**1.暗証番号の設定方法について**」参照）を選んでください。

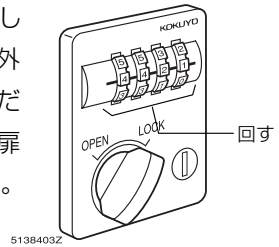


5.扉を閉めて、ツマミを「**LOCK**」位置に回してください。「**自由変換**」の場合は、ツマミを「**LOCK**」位置に回すと、表示窓の数字が暗証番号として設定されます。

※ツマミが回らないときは、ダイヤル数字を合わせた位置がズレています。暗証番号設定ラインに数字をそろえてください。



6.ダイヤルを回して、暗証番号以外の数字にしてください。これで扉は施錠されます。

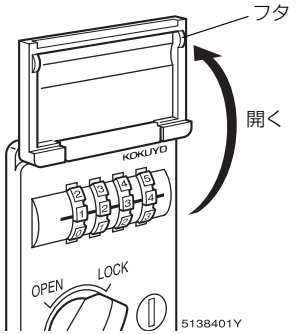


⚠注意

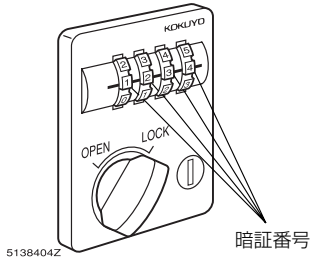
ダイヤル錠を使用しないときでも、ツマミを「**LOCK**」位置にしてください。

3.扉の解錠（開けかた）

1.フタ付きタイプの場合は、フタを開いて操作してください。

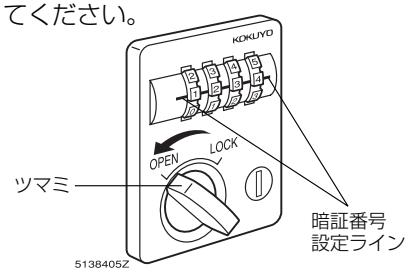


2.ダイヤルを回して暗証番号の数字を、表示窓に出してください。



3.ツマミを「**OPEN**」位置に回してください。これで扉が解錠されます。

※ツマミが回らないときは、ダイヤル数字を合わせた位置がズレています。暗証番号設定ラインに数字をそろえてください。



4.扉を開けてください。

※そのままの状態（ダイヤル数字をさわらない）で、扉を施錠すると、同じ暗証番号が設定されます。

※暗証番号の設定方法を「**自由変換**」にしている場合は、次回の施錠時に暗証番号を変更できます。

4.設定方法の変更のしかた

使用途中で設定方法を、「**固定**」から「**自由変換**」または、「**自由変換**」から「**固定**」に変更するときは、以下の手順で行ってください。

「**固　　定**」…任意で決めた1つの暗証番号でのみ、扉の施錠・解錠ができます。
設定方法を変えないと、暗証番号の変更はできません。

「**自由変換**」…施錠時に暗証番号を任意で変更することができます。

〈「自由変換」から「固定」にする場合〉

1.ツマミが「**OPEN**」位置（解錠状態）になっていることを確認してください。

2.フタ付きタイプの場合はフタを開けて、ダイヤルを回し、任意の暗証番号（4桁）を設定してください。

3.⑩ページ「**4**」の要領で、「**固定**」に設定してください。

〈「固定」から「自由変換」にする場合〉

1.ツマミが「**OPEN**」位置（解錠状態）になっていることを確認してください。

2.⑩ページ「**4**」の要領で、「**自由変換**」に設定してください。

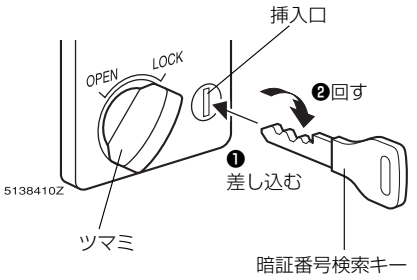
3.フタ付きタイプの場合はフタを開けて、ダイヤルを回し、任意の暗証番号（4桁）を設定してください。

5.暗証番号検索キー（別売）の使いかた

暗証番号を忘れてしまったために解錠できないときは、暗証番号検索キーで検索することができます。

1.フタ付きタイプの場合は、フタを開いて操作してください。

2.暗証番号検索キーを、図のようにキー挿入口に差し込んで右に90°回してください。



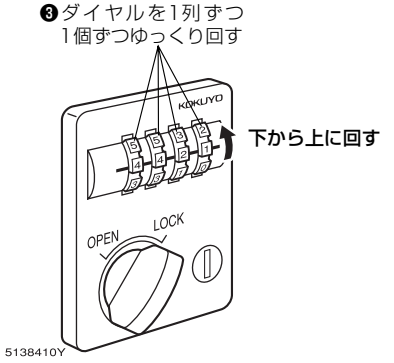
3.ダイヤルを、**1列ずつ1個ずつ下から上にゆっくり**回してください。

各列の数字が暗証番号になると、ダイヤルは止まります。

〈ご注意〉

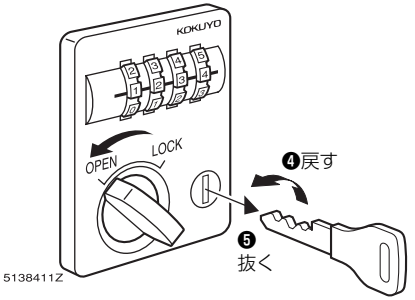
強い力でダイヤルを回さないでください。

破損することがあります。



4.キーを戻して、抜き取ってください。

5.ツマミを「**OPEN**」位置に回してください。これで扉は解錠されます。



〈ご注意〉

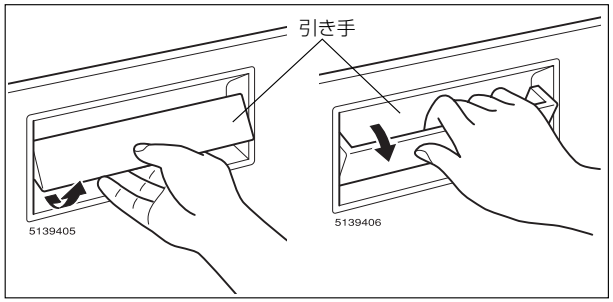
暗証番号検索キーの管理には、十分注意してください。

9 引き出しの使いかた
（ラテラル・ラテラルオープン・2層ラテラル・雑誌架のみ）

〈開きかた〉

ラテラル・雑誌架

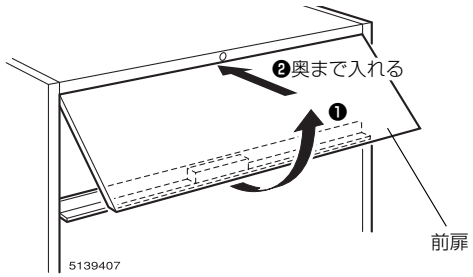
引き手は、上下どちらにも回転します。引き手に手を掛けて引き出してください。



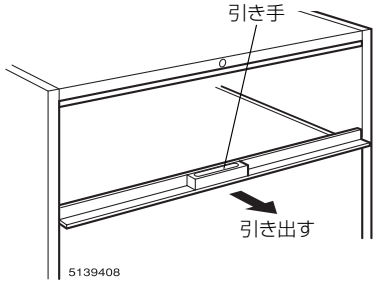
※雑誌架は、雑誌入れ部分（受金具や棒状のガード）を持って、引き出さないでください。
変形して破損や故障の原因になります。

ラテラルオープン

1.前扉を持ち上げて、奥まで押し込んでください。

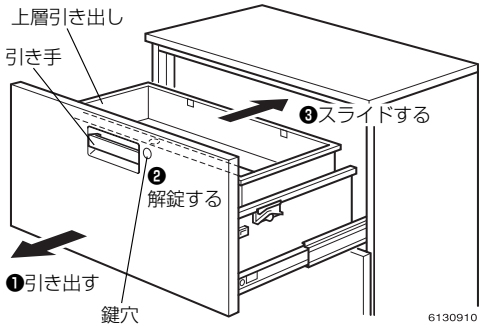


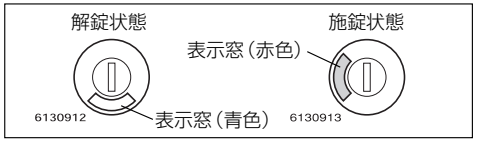
2.引き手に手を掛けて、引き出してください。



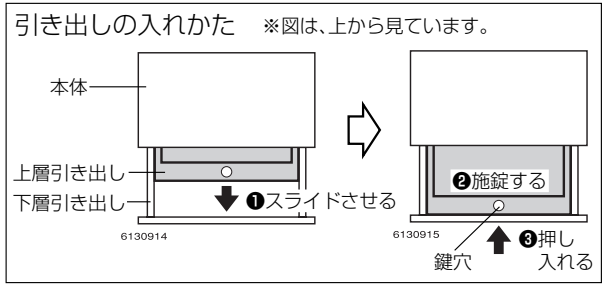
ダブルロック

1.引き手に手を掛けて、引き出してください。
2.上層引き出しの鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠し、上層引き出しを奥へスライドさせてください。
3.ものを収納したら、上層引き出しを手前にいっぱいまでスライドさせてください。
4.上層引き出しのキーを、時計回りに回して施錠し、引き出しを入れてください。



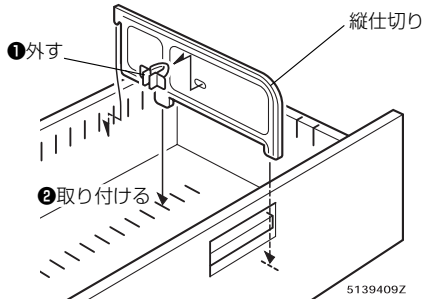


⚠注意
引き出しを出し入れするときは、上層引き出しを施錠し、キーを抜いた状態で行ってください。
破損により、けがをするおそれがあります。



〈仕切板の使いかた〉

●縦仕切り（L1・L2・M1・M2引き出しのみ）
引き出し側面に止めてある縦仕切りを外して、図のように引き出しに取り付けてください。

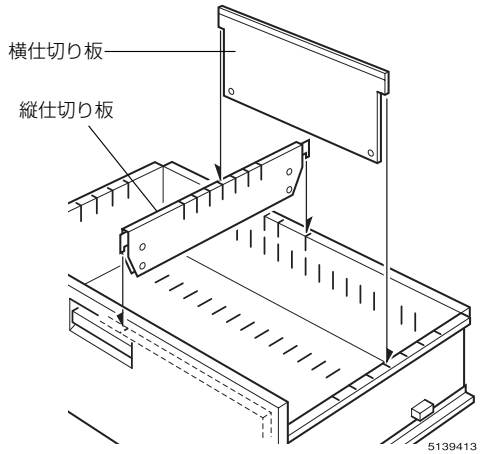


〈オプションの取り付けかた〉

●縦仕切り板：BWZA-D2

●横仕切り板：BWZA-W□□

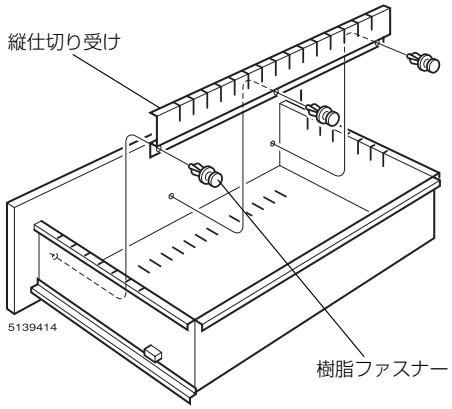
縦仕切り板を、図のように引き出しに取り付け、横仕切り板を差し込んでください。



●縦仕切り受け：
BWZA-DH（L3・L4・L5引き出し用）
BWZA-DH8（M3・M5引き出し用）

セット内容／縦仕切り受け…… 1
樹脂ファスナー…… 3

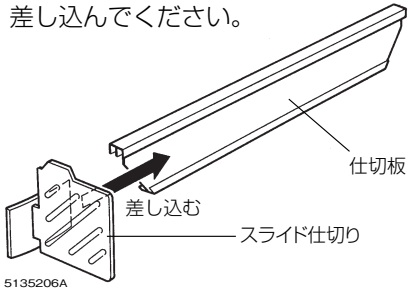
縦仕切り受けを、図のように引き出しに樹脂ファスナーで取り付けてください。



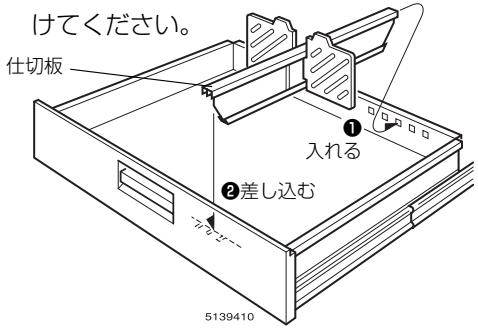
●スライド仕切り付き仕切板：
BWGA-D61
（L3・L4・L5・M3・M5引き出し用）
DCS-MB2F2（ダブルロック上層引き出し用）

セット内容／仕切板…… 1
スライド仕切り…… 2

1.スライド仕切りを、図のように仕切板に差し込んでください。



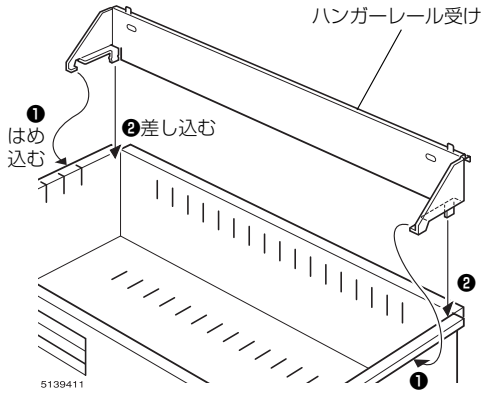
2.仕切板を、図のように引き出しに取り付けてください。



●ハンガーレール受け：BWZA-HH（8）

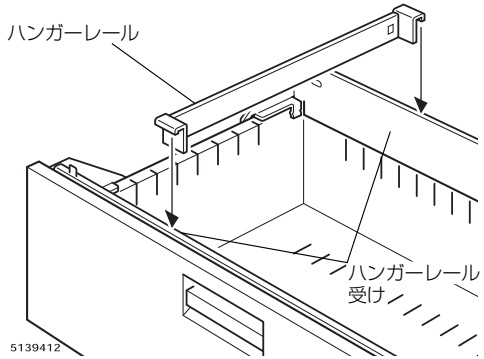
セット内容／ハンガーレール受け…… 2

ハンガーレール受けを、図のように引き出し奥側と手前側に取り付けてください。



●ハンガーレール：BWZA-HR

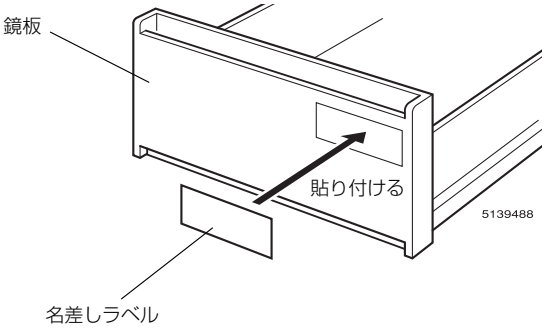
ハンガーレールを、図のようにハンガーレール受けに取り付けてください。



10 トレーの使いかた

〈名差しラベルの使いかた〉

付属の名差しラベルは、トレーの鏡板の図の位置に貼ってご使用ください。

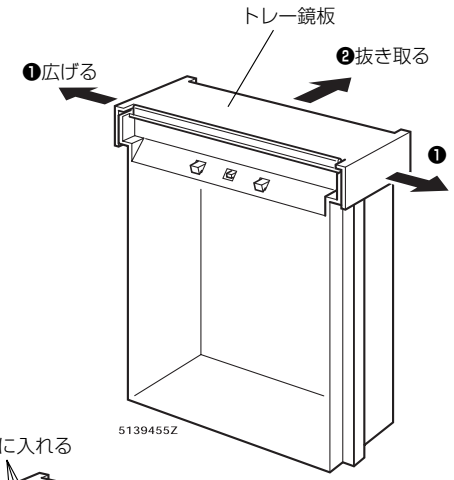


〈鏡板の取り外し・取り付けかた〉

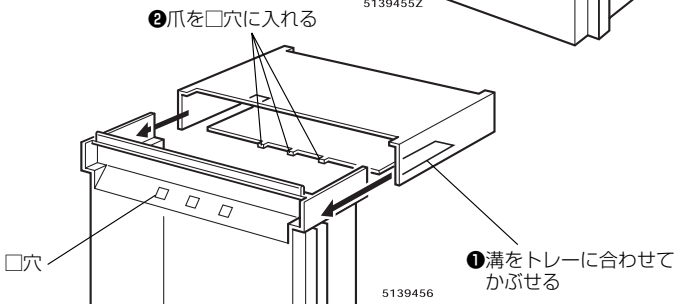
トレーの鏡板は、取り外すことができます。
収納物の見出しなどを、鏡板の中に入れることができます。また、外したままでオープントレーとして使用できます。

見出しなどを鏡板の中に入れるときは、図のように鏡板を取り外してください。（深型トレーは、レール4段分のスペース、極深型トレーは、レール6段分のスペースが必要です。）

鏡板の取り外しかた

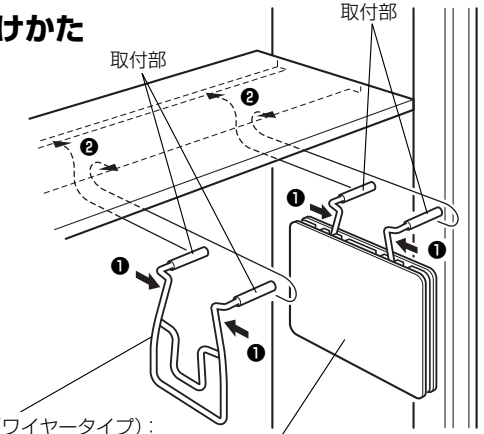


鏡板の取り付けかた



11 ブックエンド（オプション）の取り付けかた

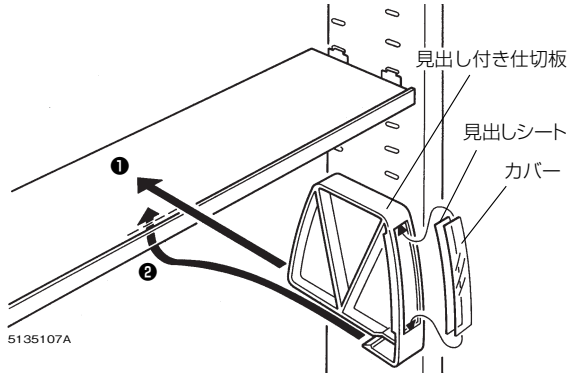
ブックエンドの取付部を、手でにぎって内側にたわませながら、棚板裏側のお好みの位置に取り付けてください。
高さ可変タイプの使いかたは、ブックエンドに付属のラベルを参照してください。



12 見出し付き仕切板：BWA-AS（オプション）の使いかた
（スライド・メディアユニット）

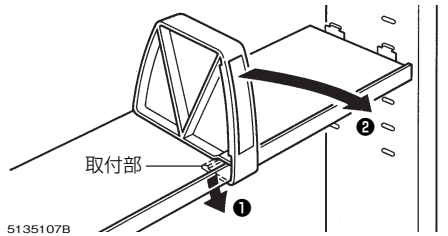
〈取り付けかた〉

見出し付き仕切板の前面に見出しシート・カバーをセットし、図のように棚板へ取り付けてください。



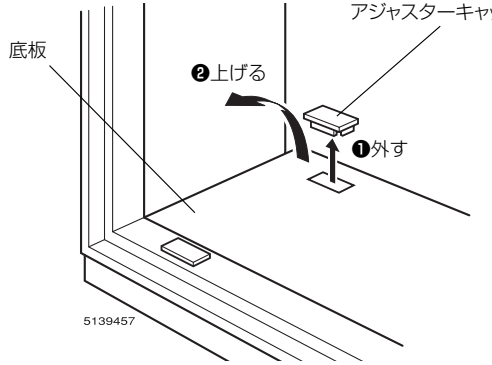
〈取り外しかた〉

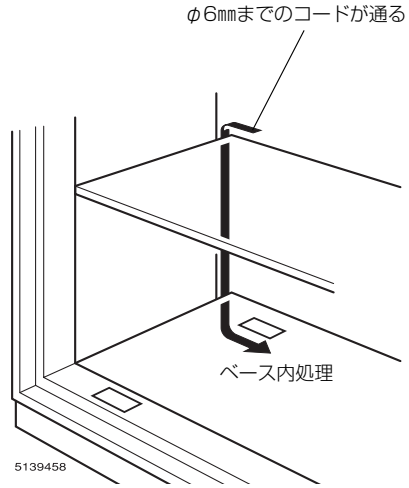
見出し付き仕切板下部の取付部を下に広げて、棚板から外してください。



4.配線のしかた

φ6㎜までのコードは、図のように側面後方のすき間に通して、ベース内に処理できます。
配線するときは、アジャスターキャップを外して、底板を上げて行ってください。





5.お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。

1.うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。

2.水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。

3.乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

〈汚れを落とすときの注意〉

水にぬれたままにしておいたり、アルコールやシンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。
さびや変色の原因になります。

6.故障かな？と思ったら（不調診断）

こんなときは ⟶	⟶ こう処置してください
●引き出し・扉が閉まらない。	収納物がはみ出したり、こぼれ落ちて引き出しや扉の動きを妨げていることが考えられます。 動きを妨げているものを取り除いてください。
●引き出しを引き出せない。	引き出しの引き手に手を掛けて、引き出してください。（⑬ページ参照）
●施錠できない。	引き出しや扉が開いていることが考えられます。 引き出しや扉をすべてきちんと閉めてください。
	収納物がはみ出したり、こぼれ落ちて引き出しや扉の動きを妨げていることが考えられます。 動きを妨げているものを取り除いてください。
	本体にゆがみが出ていることが考えられます。 アジャスターを調節して、水平にしてください。 （㉗ページ〈レベル調整〉参照）
●本体がグラグラする。 ●扉と扉、扉と本体（天板・側板）との間に不均一なすき間ができたり、こすれたりする。	アジャスターを調節して、水平にしてください。 （㉗ページ〈レベル調整〉参照）
	蝶番がゆがんでいるか、蝶番のボルトがゆるんでいることが考えられます。蝶番で扉位置の調節をしてください。（㊺ページ参照）
●棚板がグラグラする。	棚爪が同じ高さに取り付けられていない、または棚板が確実に取り付けられていないことが考えられます。棚爪の取付位置と棚板の取付状態を確認し、取り付け直してください。（⑨ページ6参照）

※以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

7.基本本体の組み立てかた

⚠注意

- **商品と収納物の重量に耐えられない場所や床に傾斜や段差のある、不安定な場所には設置しないでください。**
  転倒してけがをする原因になります。
- **商品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。**
  誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

1 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

本体の種類 / 梱包部品		オーブン・ハーフオーブン・ワイド2/3オーブン				2列オーブン				多目的ユニット			
		H 600 690	H 880 1020	H 1160	H 2040	H 600	H 880 1020	H 1160	H 2040	H 600	H 880 1020	H 1160	H 2040
本体		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
棚板		1	2	3	5	2	4	6	10	3	6	9	15
棚爪		4	8	12	20	8	16	24	40	12	24	36	60
部品袋	十字穴付トラスボルト M6×16	8	8	8	10	8	8	8	10	8	8	8	10
	板ナット M6用	4	4	4	6	4	4	4	6	4	4	4	6
	連結ボックス	10	10	10	18	10	10	10	18	10	10	10	18
	アジャスターキャップ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	連結穴キャップ	—	—	—	6	—	—	—	6	—	—	—	6

本体の種類 / 梱包部品		トレーユニット	引き戸付きトレーユニット	多目的ドック	両開き扉・ガラス両開き扉・ワイド2/3両開き扉・片開き扉 ※は下置き以外				両開き扉（常時ロック）		2枚引き違い戸・3枚引き違い戸・ガラス3枚引き違い戸 ※は下置き以外	
		H 880 1020 1160	H 1020	H 1020 1160	H 600 690	H 880 1020	H 1160	H 2040	H 1020	H 2040	H 880 1020	H 1160
本体		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
棚板		—	2	—	1	2	3	5	2	5	2	3
棚爪		—	8	—	4	8	12	20	8	20	8	12
部品袋	十字穴付トラスボルト M6×16	8	8	4	8	8	8	10	8	10	8	8
	板ナット M6用	4	4	4	4	4	4	6	4	4	4	4
	連結ボックス	10	10	10	10	10	10	18	10	18	10	10
	アジャスターキャップ	4	4	—	4	4	4	4	4	4	4	4
	連結穴キャップ	—	—	—	—	—	—	6	—	6	—	—

7.基本本体の組み立てかた

本体の種類 / 梱包部品		ラテラル・ラテラルオープン	ラテラル3段（個別ロック・ダイヤルロック、常時ロック、ダブルロック）	雑誌架	スライドユニット	メディアユニット	ノートPC集中管理ユニット	ノートPC個別管理ユニット（ ）はメールボックス付きの場合
		H 690 880 1020 1160	H 1020	H 1020 1160	H 1020	H 1020	H 1020	H 1020
本体		1	1	1	1	1	1	1
棚板		—	—	—	10	12	6	8（メールボックス付はトレー受け付）
棚爪		—	—	—	40	48	24	32
部品袋	十字穴付トラスボルト M6×16	8	8	8	8	8	8	8
部品袋	板ナット M6用	4	4	4	4	4	4	4
部品袋	連結ボックス	10	10	10	10	10	10	10
部品袋	アジャスターキャップ	—	—	—	4	4	2	2

本体の種類 / 梱包部品		パーソナルロッカー・パーソナルロッカーダイヤルロック	2人用パーソナルロッカー・2人用パーソナルロッカー（ダイヤルロック・メールボックス付き）（ ）はメールボックス付きの場合	磁気カートリッジユニット	キッチンユニット	ロッカー	3人用ロッカー
		H 1020 1160	H 1020	H 1020	H 2040	H 2040	H 2040
本体		1	1	1	1	1	1
棚板		4	4（4枚中2枚は、トレー受け付き）	10	3	—	3
ハンガーパイプ付き棚板		—	—	—	—	1	3
棚爪		16	16	40	12	4	24
部品袋	十字穴付トラスボルト M6×16	8	8	8	7	10	10
部品袋	十字穴付トラスボルト M6×30	—	—	—	6	—	—
部品袋	板ナット M6用	4	4	4	6	6	6
部品袋	連結ボックス	10	10	10	18	18	18
部品袋	アジャスターキャップ	4	4	4	4	4	4
部品袋	連結穴キャップ	—	—	—	6	6	6
ガラス棚セット ●ガラス棚本体…1 ●十字穴付トラスボルト M6×10…4 ●棚板…2 ●棚爪…8 ●アジャスターキャップ…4		—	—	—	1	—	—

2 ベースと本体の設置

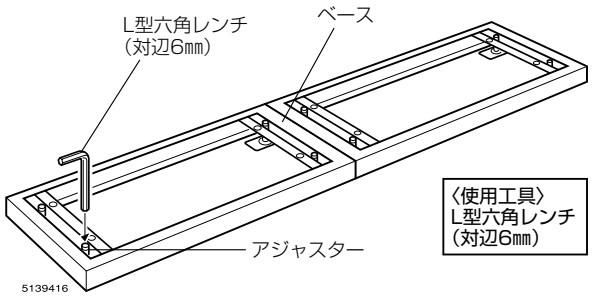
1.ベースをレイアウト位置に置いてください。

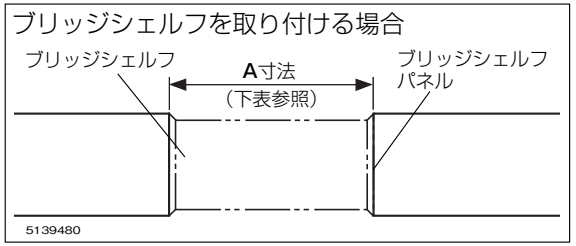
※ブリッジシェルフを取り付ける本体は、下図のA寸法をあけて設置してください。あけるA寸法は、棚板の種類で下表のように違います。

2.ベースのアジャスターを調節して、レベルを合わせてください。

※多目的ドックの場合は、スパナ(対辺17㎜)で横からアジャスターのナットを回して調節してください。

※床固定をする場合は、アジャスターの穴で行ってください。



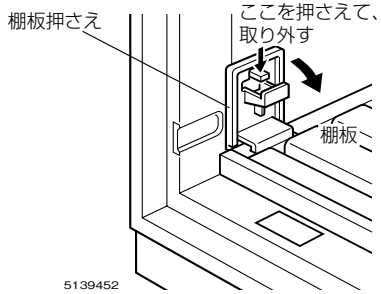


本体サイズ	ブリッジシェルフの棚板	A寸法(㎜)[あける寸法]
W900タイプ	W900用 : **BWZA-T9(SS)**	874
	W2/3用 : **BWZA-T6(SS)**	587
	Wハーフ用 : **BWZA-T5(SS)**	433
	W1/3用 : **BWZA-T3(SS)**	300
W800タイプ	W800用 : **BWZA-T8**	774
	W2/3用 : **BWZA-T55**	520
	Wハーフ用 : **BWZA-T4**	393
	W1/3用 : **BWZA-T2**	266

3.棚板が付いている本体のみ

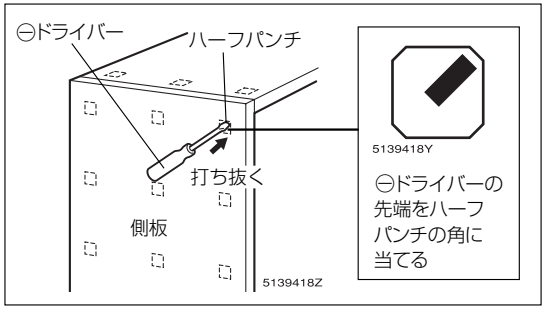
棚板を本体から、図のように棚板押さえを取り外して取り出してください。

※棚板押さえは、鍵ホルダーとして使用できますので、なくさないように保管してください。(⑧ページ5参照)



4.本体をベースにのせ、ボルトで固定してください。

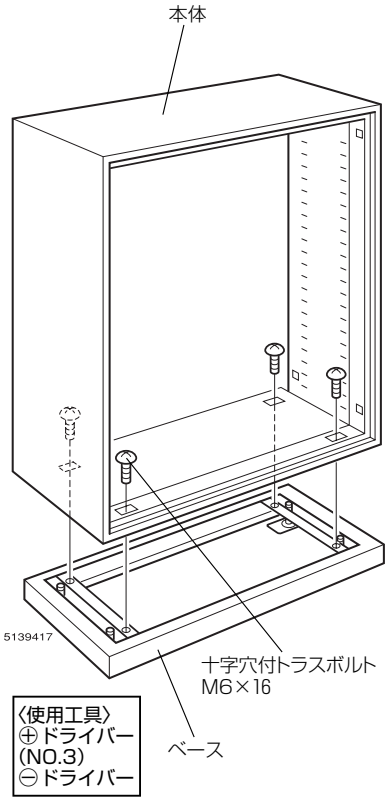
※本体を横に並べる、または2段に積み重ねる場合は、⊖ドライバーでハーフパンチを外側から打ち抜いてください。



※ハーフパンチは、いったん抜くと、元に戻りませんので、以下の「ハーフパンチ打ち抜き位置」図を参考にして必要な部分を抜いてください。

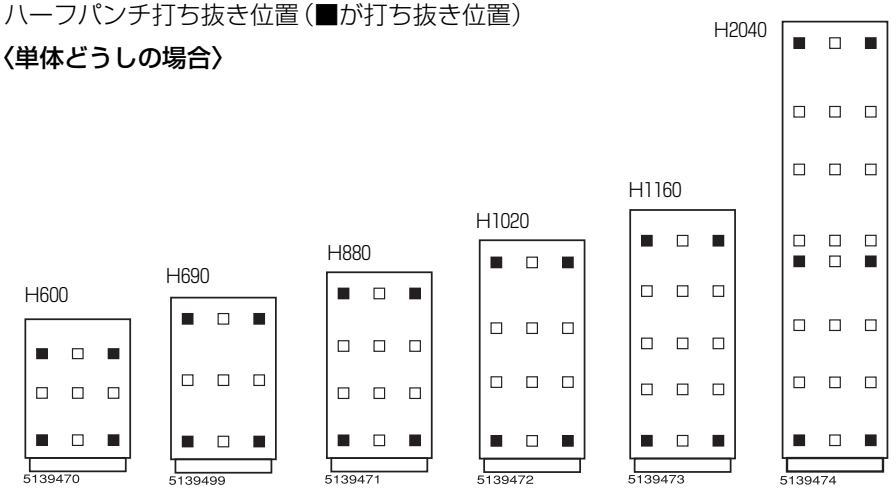
※ハーフパンチを抜いた後の角片が側板内側に残らないように取り除いてください。

※スライドドアの場合は、前側2カ所を下部レールと共締めします。(スライドドアに付属の取扱説明書を参照)



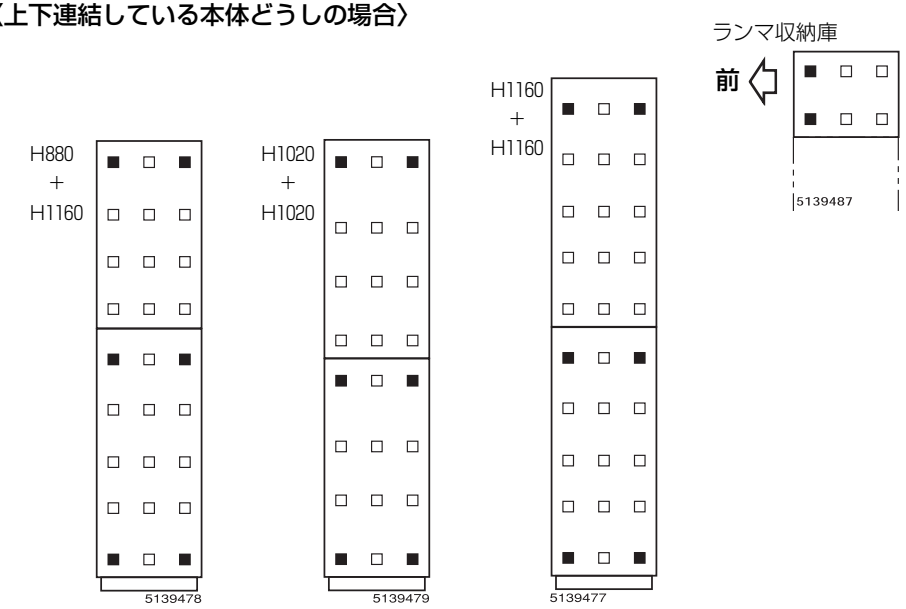
ハーフパンチ打ち抜き位置(■が打ち抜き位置)

〈単体どうしの場合〉

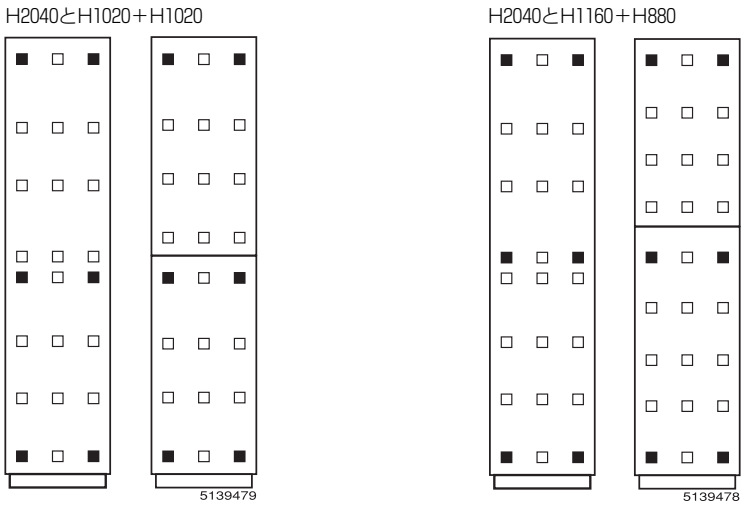


ハーフパンチ打ち抜き位置（■が打ち抜き位置）

〈上下連結している本体どうしの場合〉



〈単体と上下連結している本体の場合〉



3 本体の連結

本体を、横または上下に並べる場合は、本体どうしをボルトで仮締めし、本体のそろいを確認後、本締めして固定してください。

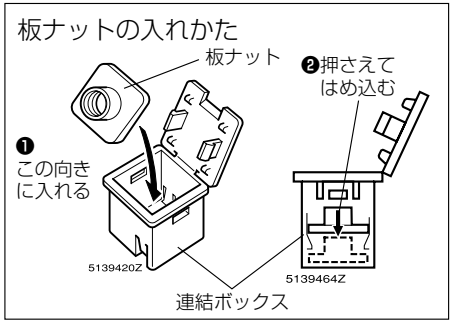
〈横連結〉

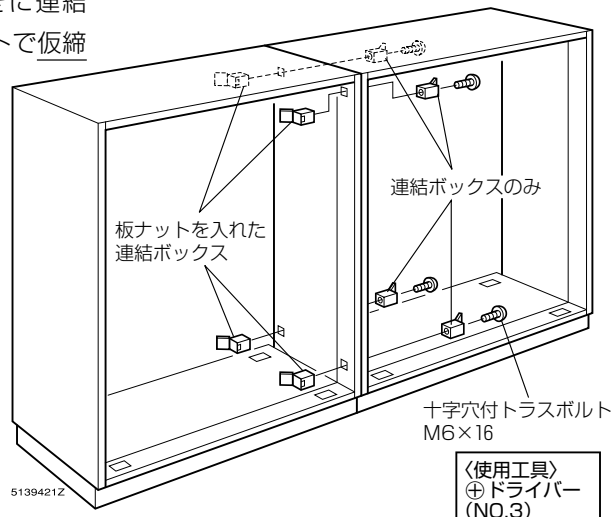
1.連結面の片側に使う連結ボックスに、板ナットを入れてください。

2.本体どうしの側板を、図の向きに連結ボックスを□穴に入れて、ボルトで仮締めしてください。

※キッチンユニットを連結する場合は、奥側（縦3カ所）にM6×30のボルトを使って連結してください。

3.本体のそろいを確認し、ズレている場合は、レベルを調整してそろえた後、ボルトを本締めしてください。





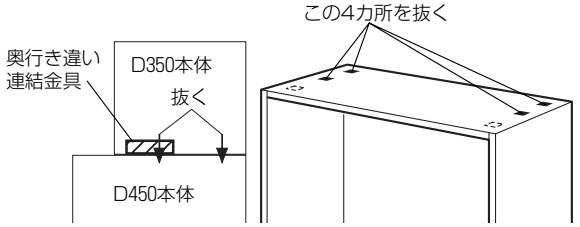
〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.3)

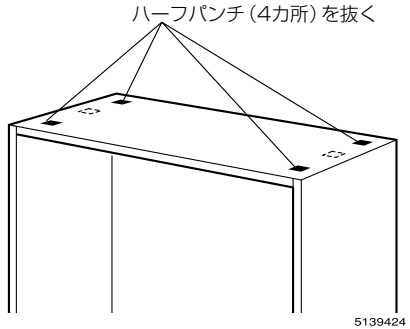
〈上下連結〉

1.下置き本体の天面のハーフパンチ（4カ所）を抜いてください。

※H2040本体の場合は、ハーフパンチがなく、天面に穴が開いています。

※D450の本体にD350本体をのせる場合は、下図の位置のハーフパンチを抜いてください。また、奥行き違い連結金具が必要です。





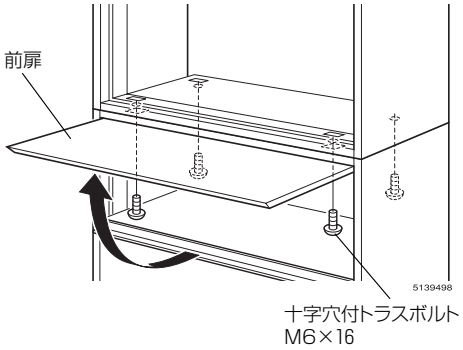
〈使用工具〉
⊖ドライバー

2.上置き本体をのせて、下置き本体の手前側2カ所に、図の向きで連結ボックスを入れてください。（ラテラルオープンは除く）

ラテラルオープンの場合

前扉を持ち上げた状態で、下からボルトで仮締めしてください。

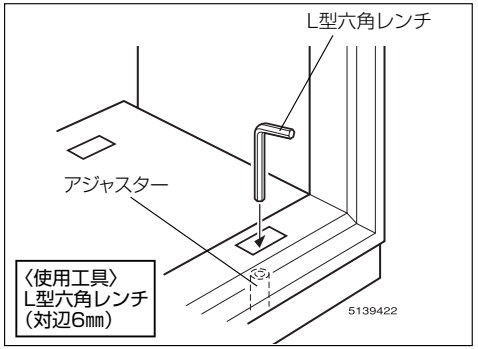
※このとき、連結ボックスは使用しません。

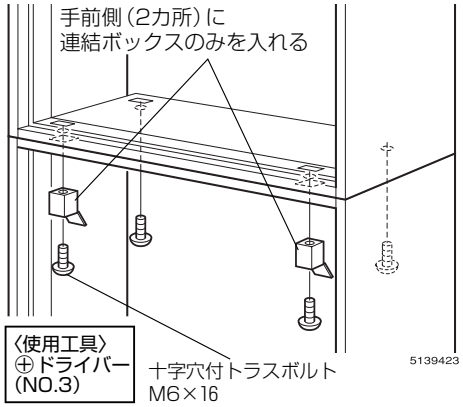


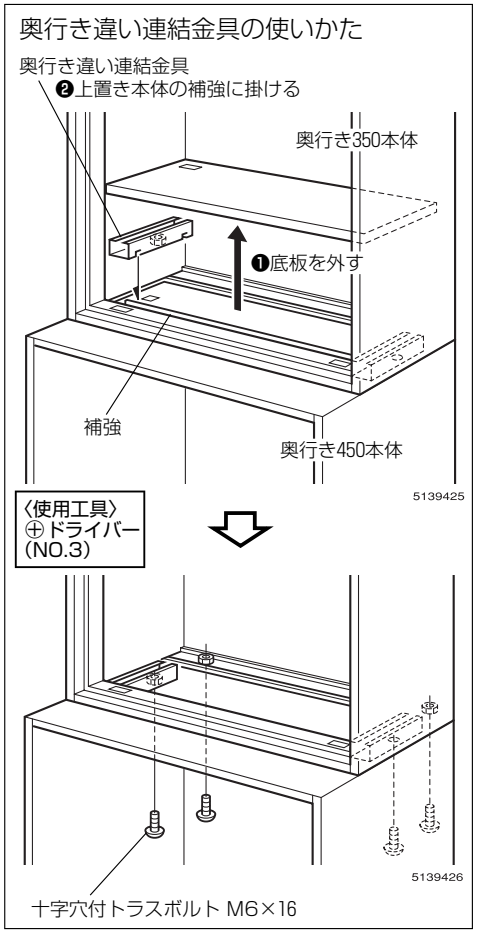
3.下からボルトで仮締めして本体のそろいを確認し、ズレている場合は、レベルを調整してそろえた後、ボルトを本締めしてください。

〈レベル調整〉

本体底部の□穴から、L型六角レンチでアジャスターを調節して、本体のレベルを調整してください。







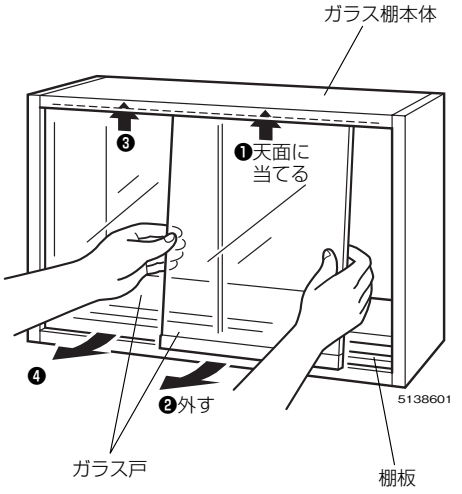
4 キッチンユニットの組み立て

1.ガラス棚からガラス戸を取り外して、棚板・棚爪を取り出してください。

⚠注意

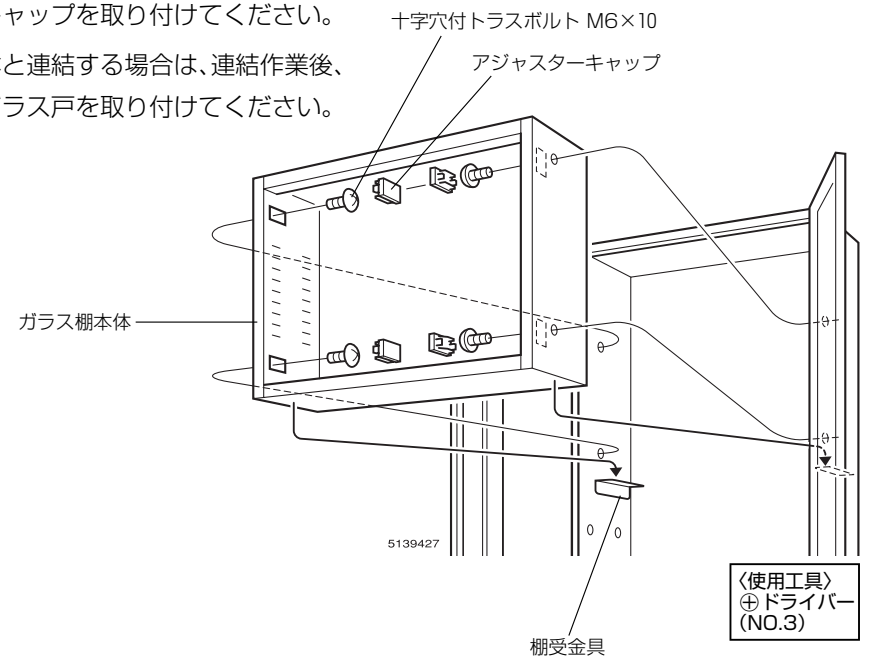
組み立てや移設の際は、ガラス戸を取り外してから行ってください。

ガラス戸が落下・破損してけがの原因になります。



2.ガラス棚本体を、収納庫本体の棚受金具にのせて、ボルトで側板に固定し、アジャスターキャップを取り付けてください。

3.他の本体と連結する場合は、連結作業後、棚板・ガラス戸を取り付けてください。



8.オプション類の組み立てかた

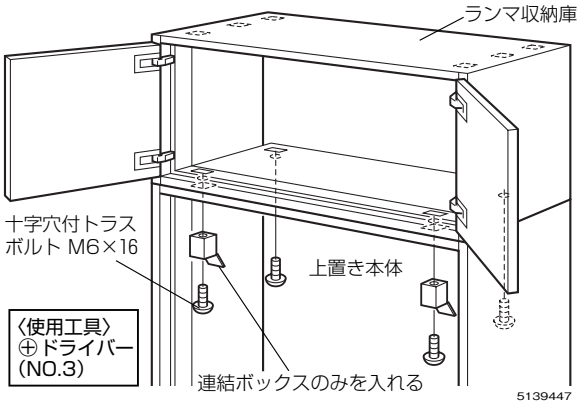
1 ランマ収納庫の組み立て

〈構成部品〉

本体…… 1
十字穴付トラスボルト
M6×16 …… 6
板ナット M6用 …… 2
連結ボックス…… 6

1.ランマ収納庫を上置き本体にのせてください。

2.㉑ページ「上下連結ー **1**～**3**」の要領で連結してください。



2 笠木の取り付けかた

〈構成部品〉

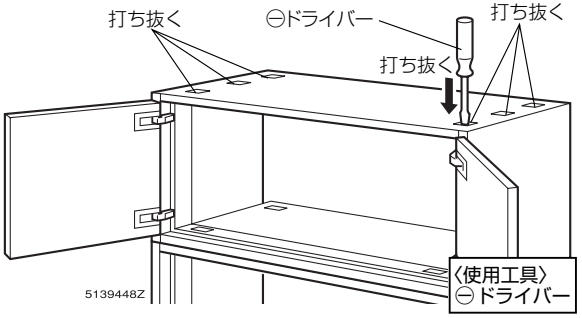
本体…… 1
十字穴付トラスボルト
M6×16 …… 4

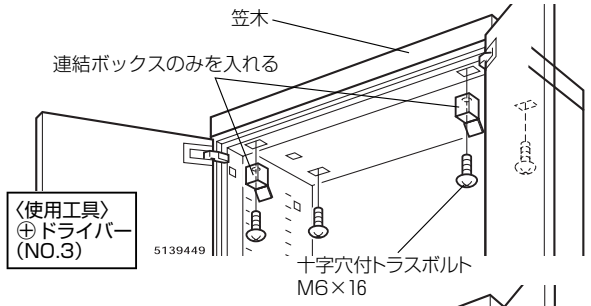
1.ランマ収納庫天面のハーフパンチ（6カ所：笠木固定用4カ所、アジャスター調節用2カ所）を⊖ドライバーで抜いてください。

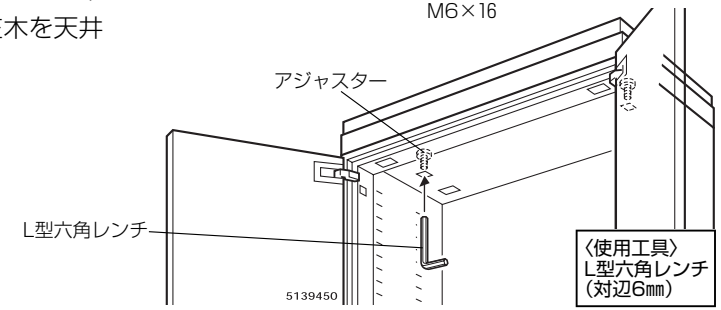
2.笠木を、ランマ収納庫にのせてください。

3.ランマ収納庫の連結と同じ要領で笠木を固定してください。

4.ランマ収納庫本体上側の□穴から、L型六角レンチでアジャスターを調節して、笠木を天井に当ててください。







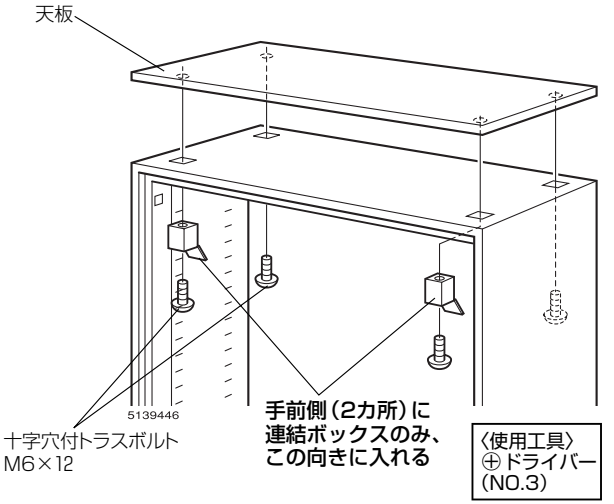
3 天板の取り付け

〈構成部品〉

本体…… 1
十字穴付トラスボルト
M6×12 …… 4

1.本体の天面のハーフパンチ（端の4カ所）を抜いてください。

2.本体からボルト（手前側2カ所に連結ボックスを入れる）で固定してください。



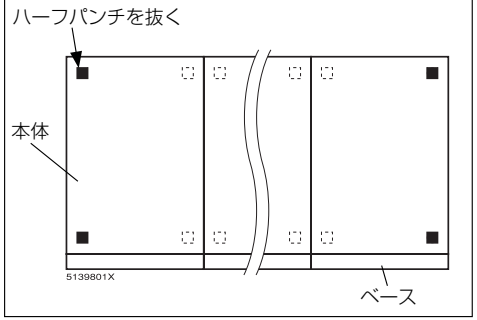
4 配線天板・エンドパネルの取り付け

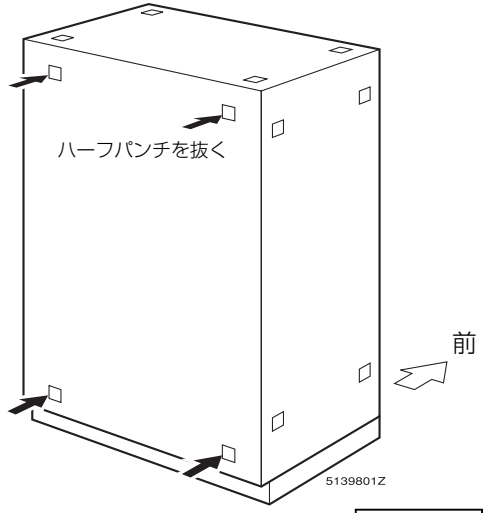
〈構成部品〉

配線用エンドパネル…… 1
エンドパネル巾木…… 1
ブラケット…… 1
十字穴付ナベタッピンネジ…… 2
十字穴付平頭ボルト M4×8 …… 2

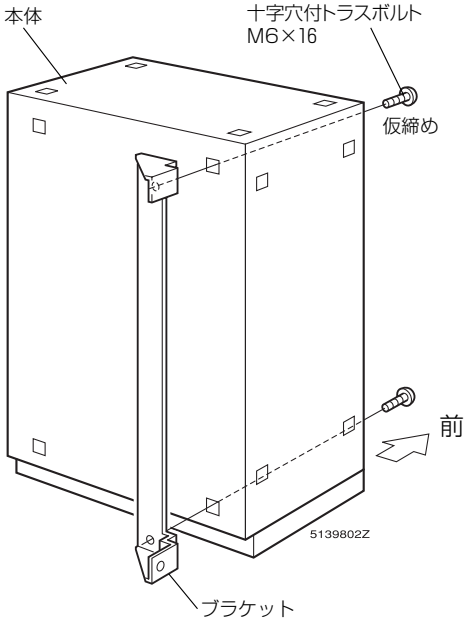
1.本体背面に図のようにハーフパンチを打ち抜いてください。（㉔ページ参照）

本体を連結している場合の
ハーフパンチ穴位置



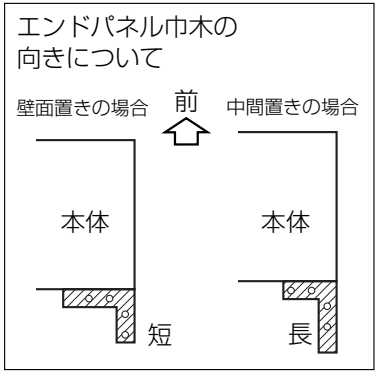


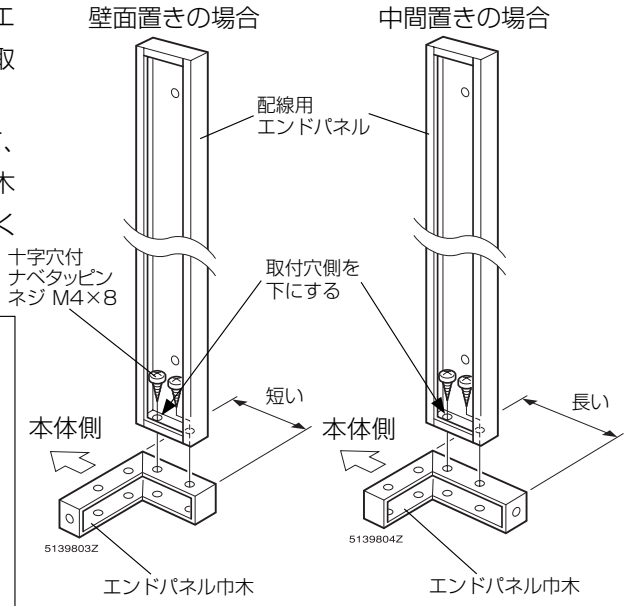
2.ブラケットを、本体背面にボルトで仮締めしてください。



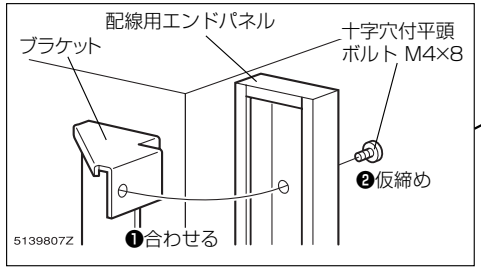
3.エンドパネル巾木を、配線用エンドパネルにナベタッピンで取り付けてください。

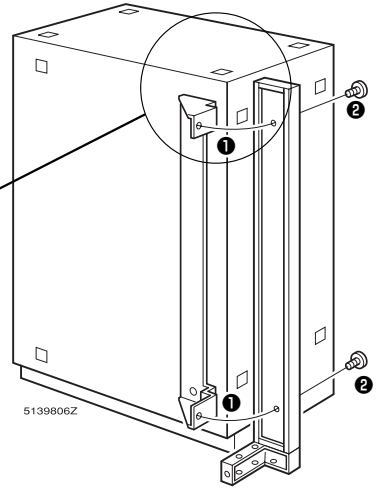
※本体のレイアウトによって、図のようにエンドパネル巾木の向きを変えて取り付けてください。





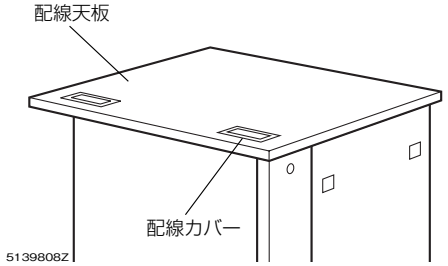
4.配線用エンドパネルのボルト止め用穴とブラケットのナット穴を合わせて、ボルトで仮締めしてください。

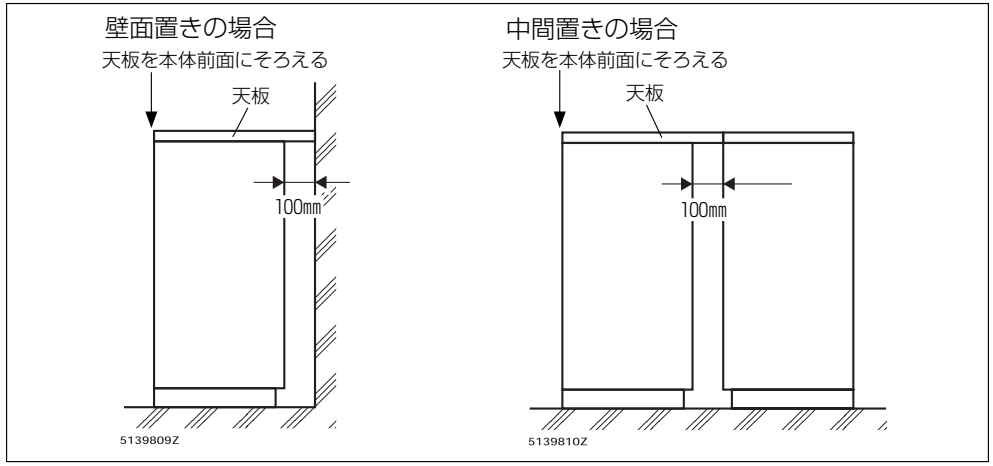




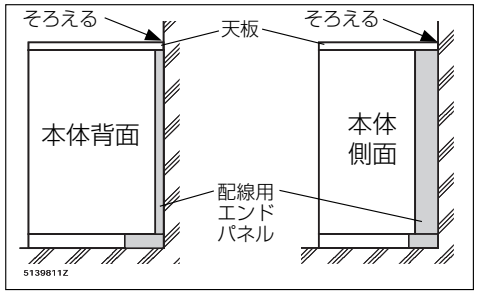
5.配線天板を、㉚ページの「3天板の取り付け」を参照して、本体に取り付けてください。

※本体のレイアウトによって、下図のように天板の固定位置を調節してください。





6.「**2**」、「**4**」で仮締めしたボルトを、天板側面、本体側面、配線用エンドパネルの三面を揃えてから本締めしてください。



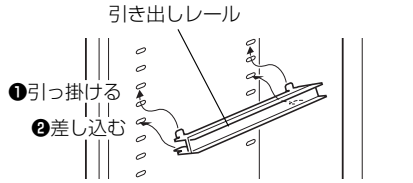
5 パーソナルロッカー用引き出しの取り付け

〈構成部品〉

引き出し本体…… 1
引き出しレール…… 左右各1

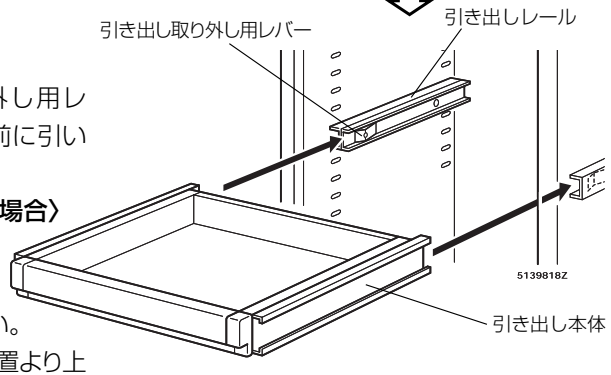
1.本体内側のスリットに、引き出しレールを図のように引っ掛けてください。
※引き出しレールは、左右とも同じ高さのスリットに取り付けてください。

2.引き出し本体を、図のように引き出しレールに差し込んでください。



〈引き出しを取り外す場合〉

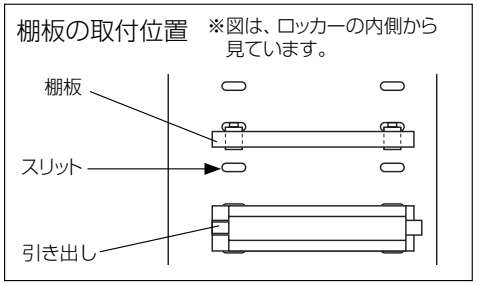
引き出しレールの引き出し取り外し用レバーを押えながら、引き出しを手前に引いて取り外してください。

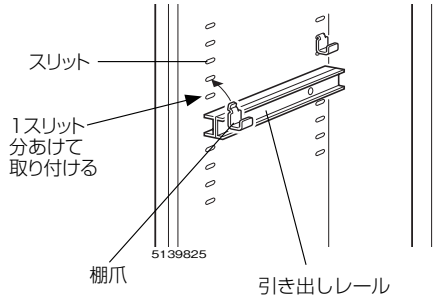


〈引き出しの上に棚板を取り付ける場合〉

1.棚爪を、図のようにスリットに取り付けてください。

2.棚板を、棚爪に取り付けてください。
※棚板は、引き出しレール取付位置より上へ1スリット分あけて取り付けてください。引き出しの中のものが、棚板と挟まり破損するおそれがあります。





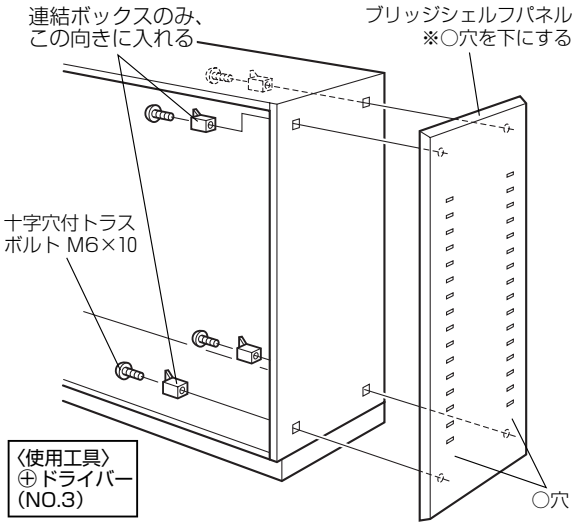
6 ブリッジシェルフの取り付け

〈構成部品〉

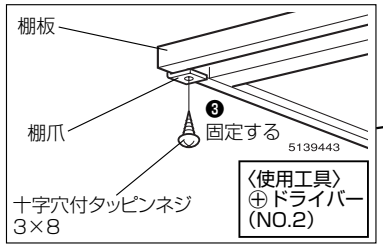
ブリッジシェルフ…… 2
十字穴付トラスボルト M6×10… 8
十字穴付タッピンネジ 3×8…… 4
注意ラベル…… 1

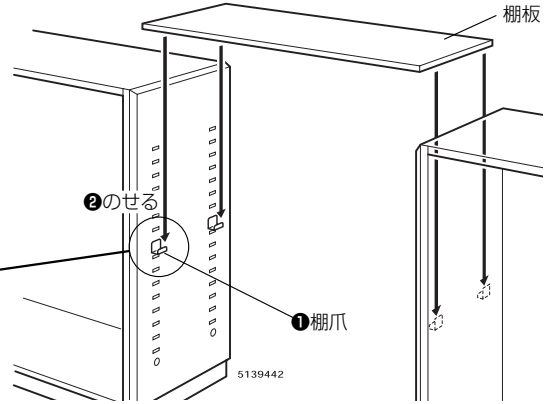
1.本体の側面のハーフパンチを、㉔・㉕ページの「ハーフパンチ打ち抜き位置」図を参照して抜いてください。

2.本体側板の□穴に、図の向きに連結ボックスを入れて、ブリッジシェルフパネルを○穴を下にして、ボルトで取り付けてください。

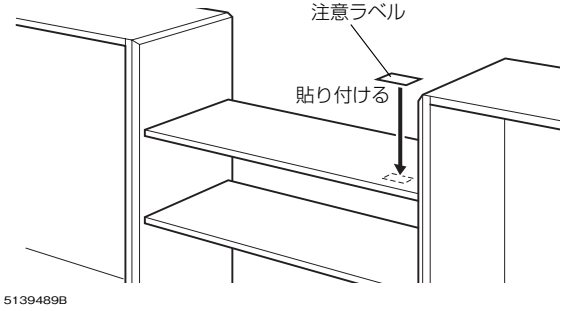


3.ブリッジシェルフパネルに、⑨ページの6の要領で棚爪を取り付け、棚板をのせて下からネジで固定してください。





4.ブリッジシェルフパネルに付属の注意ラベルを、棚板の右手前に貼り付けてください。
※貼り付ける棚板は、
- 本体がH2040の場合は、床面から1m程度の高さにある棚板
- 本体がH1160以下の場合は、最上段の棚板



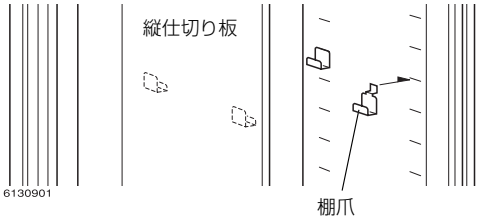
7 ダブルロックユニットの取り付け

1.縦仕切り板を、ユニフレックス本体の取扱説明書を参照して、本体に取り付けてください。

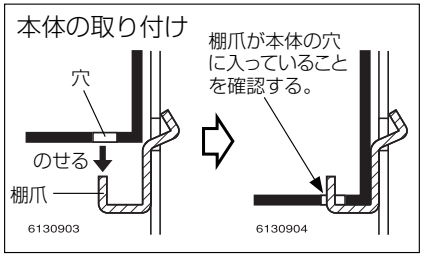
2.棚爪を、ご希望の高さに合わせて、収納庫に4カ所取り付けてください。(⑨ページ6参照)

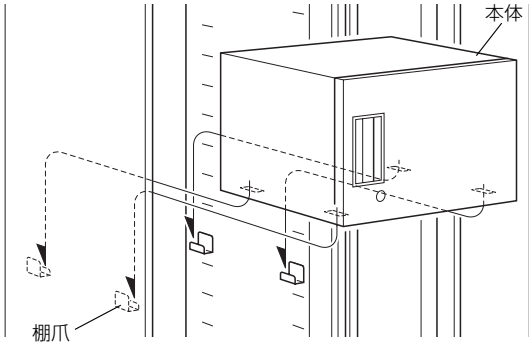
〈構成部品〉

本体……1
十字穴付タッピンネジ M4×8……4
保護テープ ……片開きタイプ：1
両開きタイプ：2
キー……1



3.本体を収納庫の棚爪にのせてください。



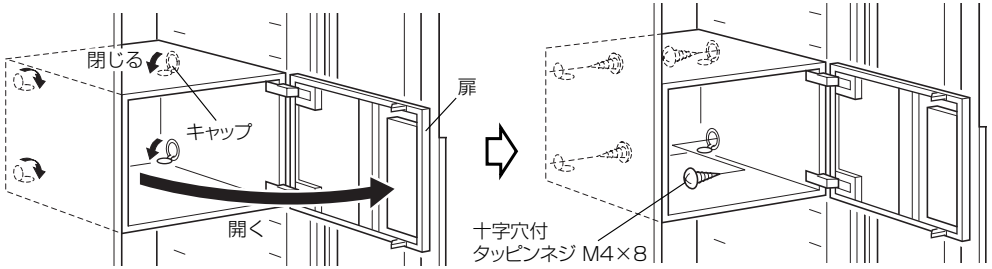


4.本体の扉を開いて、本体内側のキャップを外し、ネジで4カ所固定してください。

⚠注意

本体は必ず収納庫本体と縦仕切り板に固定してください。

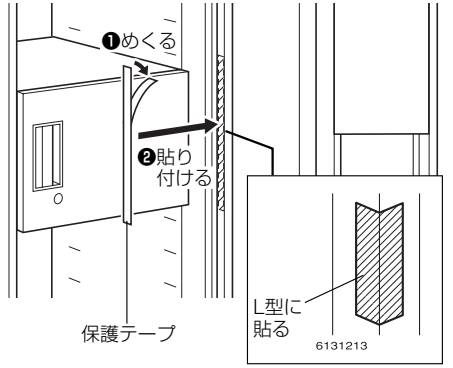
落下や転倒のおそれがあります。



5.本体を縦仕切り板の右側に取り付けた場合のみ

保護テープを、図のように収納庫の右扉に貼り付けてください。

※両開きタイプは、反対側にも貼り付けてください。



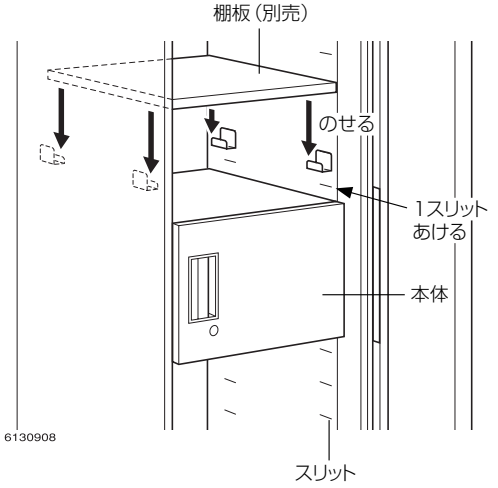
6.本体の上にものをのせたい場合は、棚板(別売)を取り付け、その上にものをのせてください。

※棚板は、本体の上に1スリット分あけて取り付けてください。

⚠注意

本体の上にものを直接のせないでください。

変形や破損により、けがをする原因になります。



以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

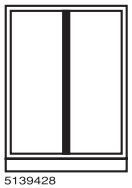
9.セパレートシステムの組み立てかた

1 縦仕切りの組み立て

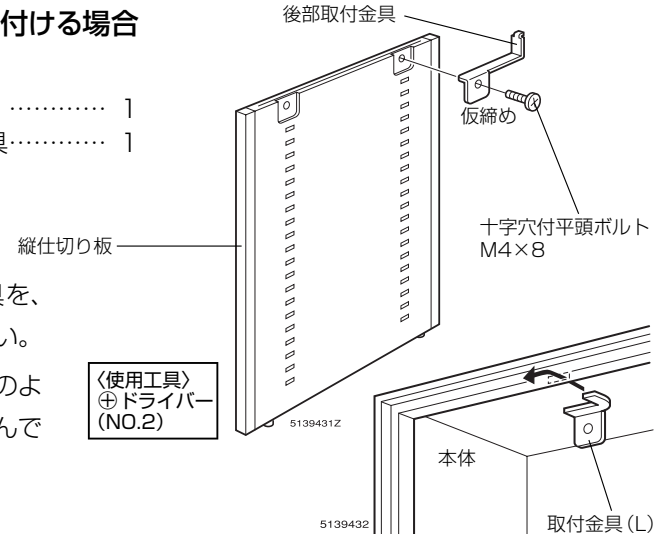
※取付パターンによって、使用する金具が違います。余った金具は、レイアウト替時のために、大切に保管してください。

〈構成部品〉
縦仕切り板…… 1
取付金具（L・R）…… 各1
後部取付金具…… 1
十字穴付平頭ボルト M4×8 …… 2

●本体の天板・底板に取り付ける場合


5139428

〈使用金具〉
取付金具（L）…… 1
後部取付金具…… 1



〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)

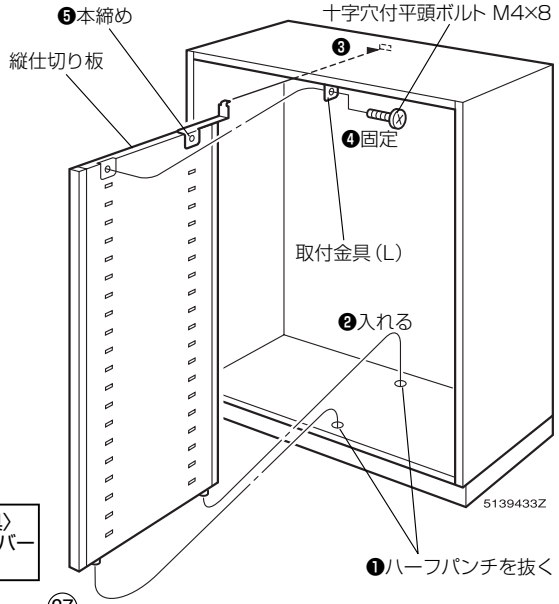
1.縦仕切り板に後部取付金具を、ボルトで仮締めしてください。

2.本体天板前側の□穴に、図のように取付金具（L）を差し込んでください。

3.本体底板（縦仕切り板取付位置）のハーフパンチを抜いてください。

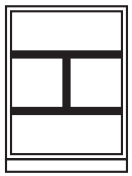
4.縦仕切り板の底面のネジ頭を、本体底板の穴に入れて、後部取付金具を天板後側の□穴に入れてください。

5.取付金具（L）を縦仕切り板にボルトで固定し、後部取付金具のボルトを本締めしてください。

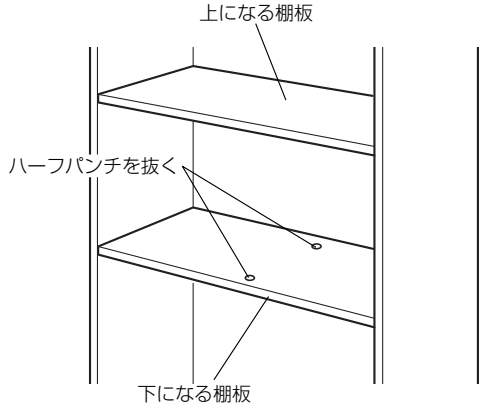


〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)

●棚板※と棚板※に取り付ける場合


5139430

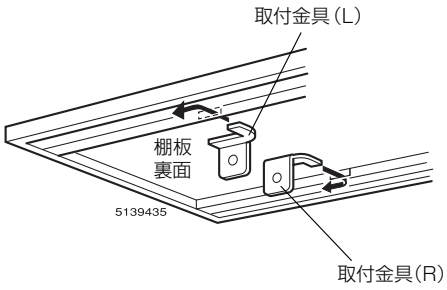
〈使用金具〉
取付金具（L・R）… 各1
※別途、縦仕切り用棚板2枚が必要です。



1.縦仕切り板の下になる棚板（縦仕切り板取付位置）のハーフパンチを抜いてください。

2.縦仕切り板の上と下になる棚板を⑨ページの6の要領で、本体に取り付けてください。

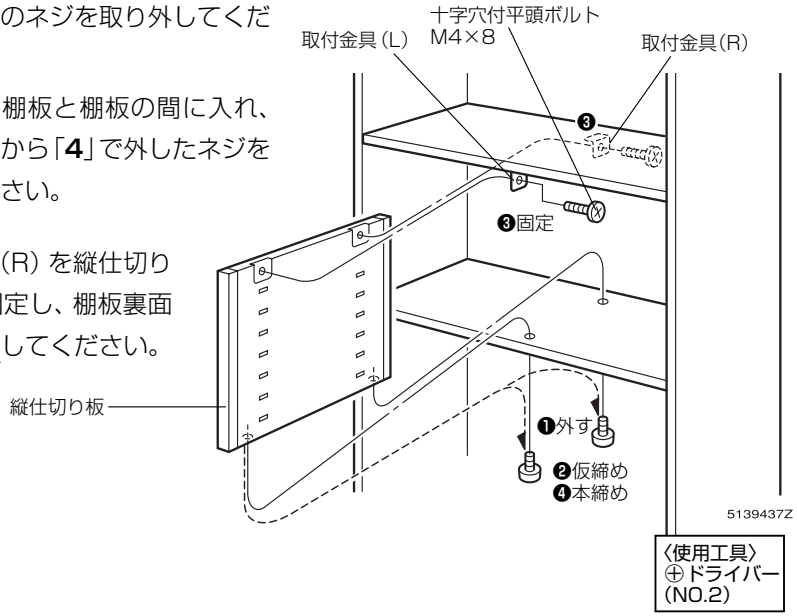
3.縦仕切り板の上になる棚板裏面前側の□穴に、図のように取付金具（L）・取付金具（R）を差し込んでください。



4.縦仕切り板底面のネジを取り外してください。

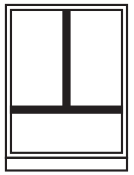
5.縦仕切り板を、棚板と棚板の間に入れ、下側の棚板裏面から「**4**」で外したネジを仮締めしてください。

6.取付金具（L）・（R）を縦仕切り板にボルトで固定し、棚板裏面のネジを本締めしてください。

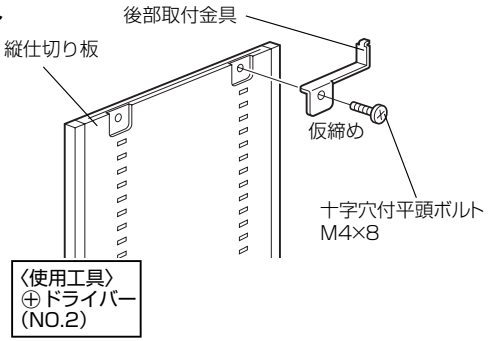


〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)

●本体の天板と棚板※に取り付ける場合


5139482

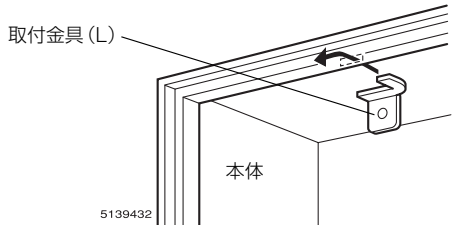
〈使用金具〉
取付金具（L）…… 1
後部取付金具…… 1
※別途、縦仕切り用棚板1枚が必要です。



1.縦仕切り板に後部取付金具を、ボルトで仮締めしてください。

2.前ページの「**1**」「**2**」の要領で、縦仕切り板の下になる棚板のハーフパンチを抜いて、本体に取り付けてください。

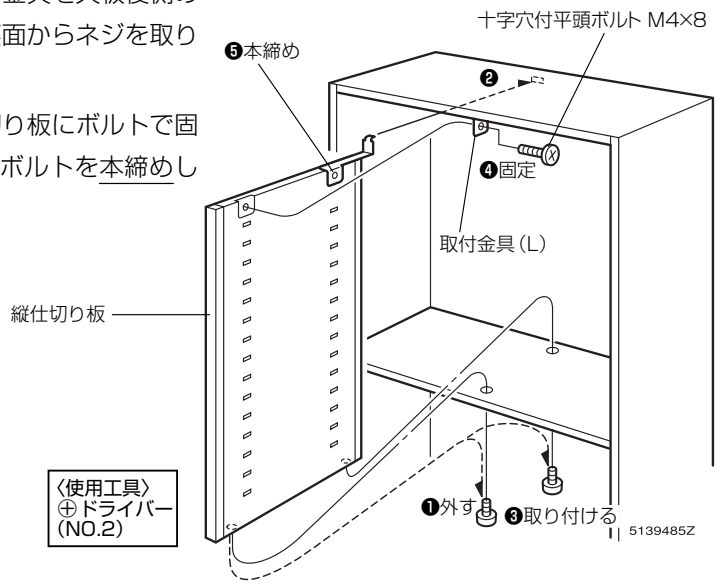
3.本体天板前側の□穴に、図のように取付金具（L）を差し込んでください。



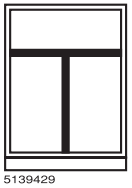
4.縦仕切り板底面のネジを取り外してください。

5.縦仕切り板の後部取付金具を天板後側の□穴に入れて、棚板裏面からネジを取り付けてください。

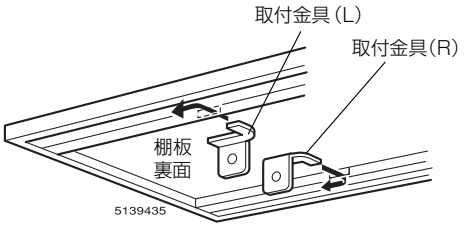
6.取付金具（L）を縦仕切り板にボルトで固定し、後部取付金具のボルトを本締めしてください。



●棚板※と本体の底板に取り付ける場合


5139429

〈使用金具〉
取付金具（L・R）… 各1
※別途、縦仕切り用棚板1枚が必要です。



1.棚板を⑨ページの6の要領で取り付けてください。

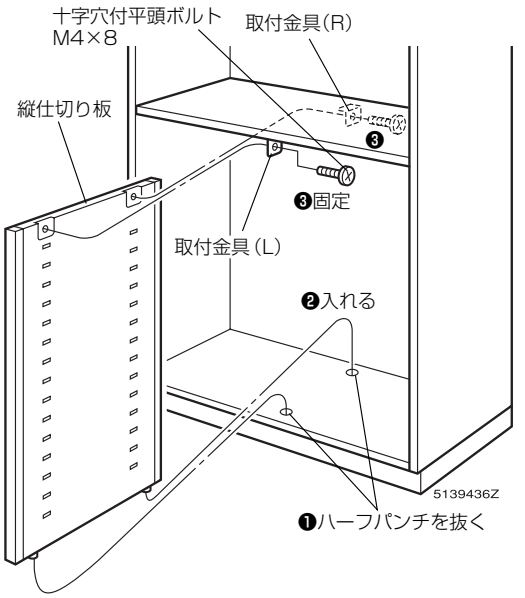
2.棚板裏面前側の□穴に、図のように取付金具（L）・取付金具（R）を差し込んでください。

3.本体底板（縦仕切り板取付位置）のハーフパンチを抜いてください。

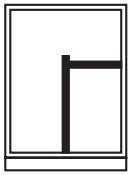
4.縦仕切り板底面のネジ頭を本体底板の穴に入れてください。

5.取付金具（L）・（R）を、縦仕切り板にボルトで固定してください。

〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)

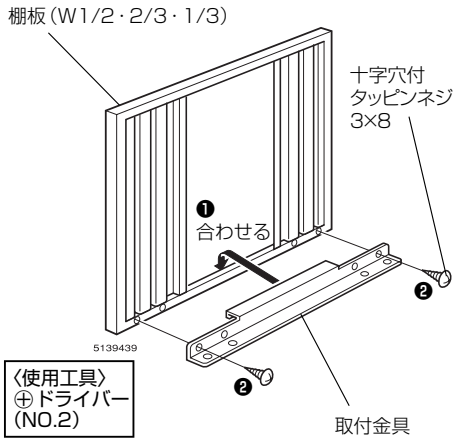


2 L棚用縦仕切り板の組み立て

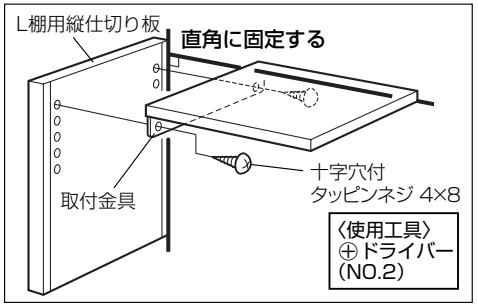

5139438

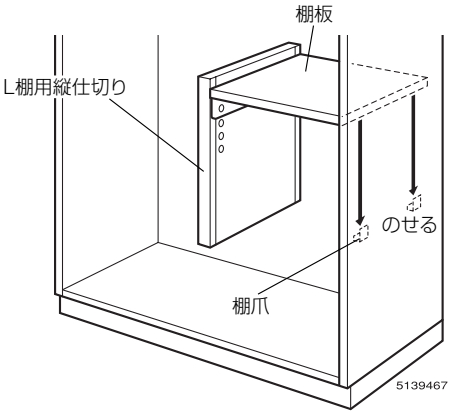
〈セット内容〉
L棚用縦仕切り板 …… 1
取付金具…… 1
十字穴付タッピンネジ
……4×8が2、3×8が2
※別途、棚板（W1/2・2/3・1/3）が1枚必要です。

1.取付金具を、棚板に図のように合わせて、ネジ（3×8）で固定してください。



2.L棚用縦仕切り板と棚板を、本体の背板に当て、直角になるように取付金具をネジ(4×8)で固定してください。

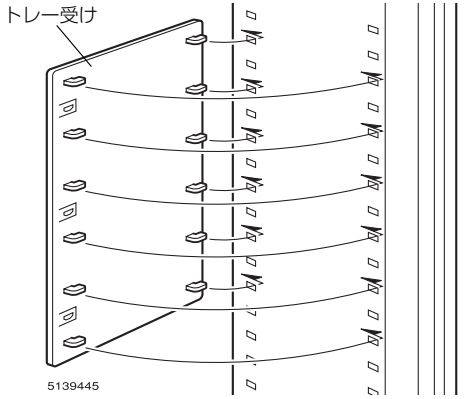


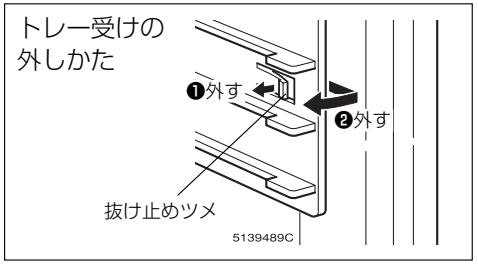


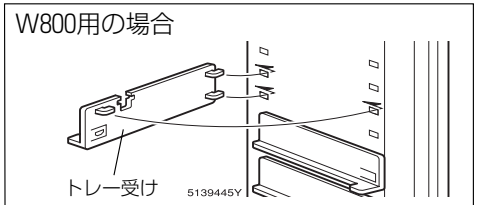
3.⑨ページの6の要領で、本体に棚爪を取り付け、L棚用縦仕切り板に直直角に固定した棚板をのせてください。

3 トレーの組み立て

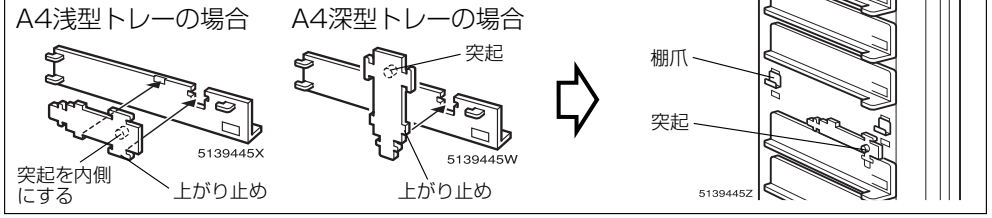
トレー受けを、図のように本体側板に取り付けて、トレーを入れてください。
外すときは、図のように抜け止めツメを外し、手前にズラして外してください。







最上段や棚板の下にトレーを取り付ける場合は、トレー受けに上がり止めを取り付けてください。



10.用途転換対応パーツの組み立てかた

〈オープンフレームの取り付け〉
〈構成部品〉
オープンフレーム…… 左右各1
十字穴付トラスボルト M4×10 …… 4

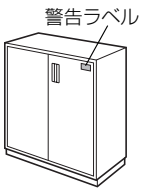
〈両開き扉の取り付け〉
〈ガラス両開き扉の取り付け〉
〈構成部品〉
扉…… 左右各1
ラッチ掛け…… 2
十字穴付トラスボルト M4×10 …… 8

1.本体から、キャップAを外し、取付金具または蝶番を、本体取付部に差し込んでボルトで固定してください。

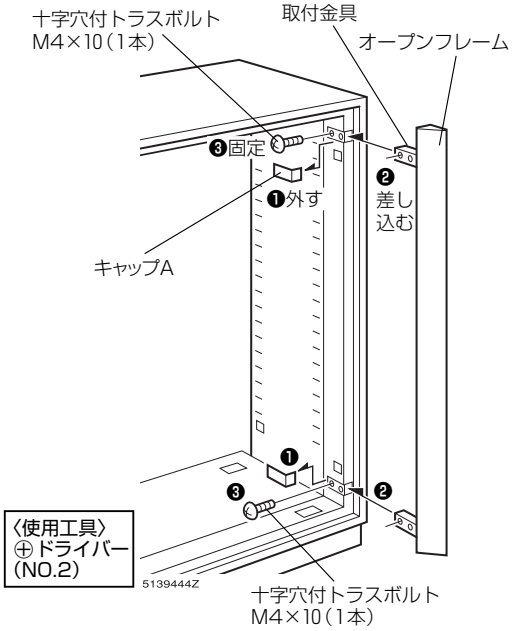
2.両開き扉・ガラス両開き扉は、本体中央の上下からキャップBを外し、ラッチ掛けを取り付けてください。

※両開き扉·ガラス両開き扉は、㊺ページを参照して、扉の調節を行ってください。

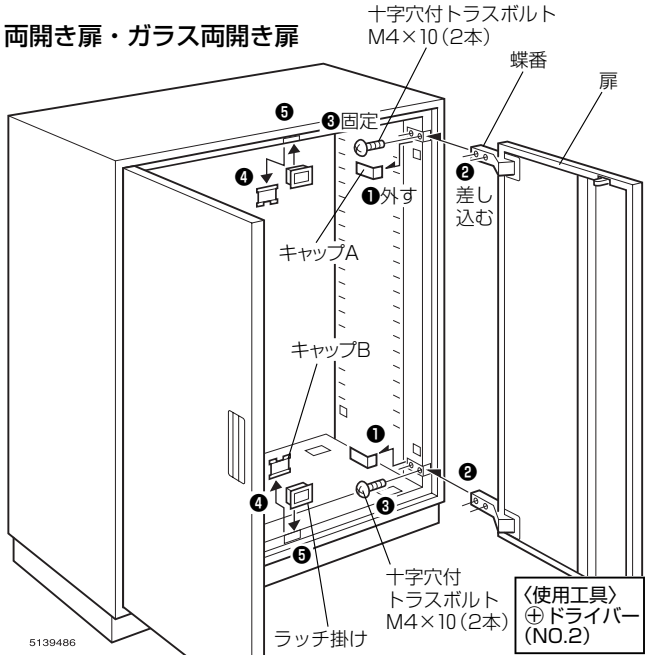
※D350タイプ本体に扉を取り付ける場合、付属の警告ラベルを扉の図の位置に貼り付けてください。



オープンフレーム



両開き扉・ガラス両開き扉



⚠警告

D350タイプ本体に両開き扉、ガラス両開き扉を取り付ける場合は、単体で使用しないでください。

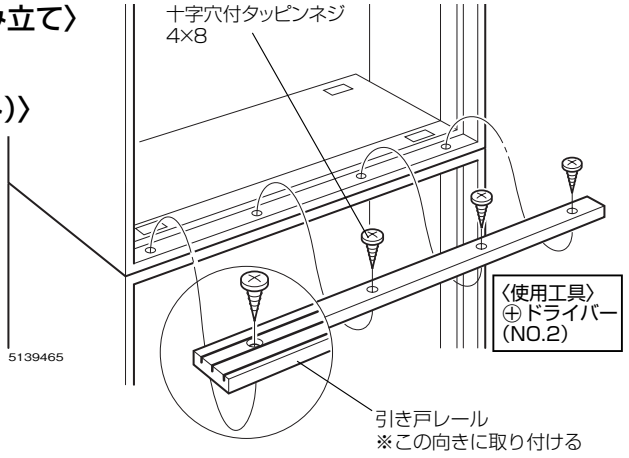
単体で使用すると、転倒により、けがをする原因になります。

※やむをえず単体で使用する場合は、壁・床固定するか、安定脚などの装着による転倒防止対策を行ってください。

〈2枚・3枚引き違い戸の組み立て〉
〈引き戸付きトレーユニットの組み立て（下置きタイプのみ）〉

〈構成部品〉

引き戸…… 1セット
引き戸レール…… 2
ラッチ掛け…… 2
十字穴付タッピンネジ 4×8 … 8



1. 引き戸レールを、図の向きに本体底板にネジで固定してください。
※引き戸付きトレーユニットの場合は、下置きタイプになります。

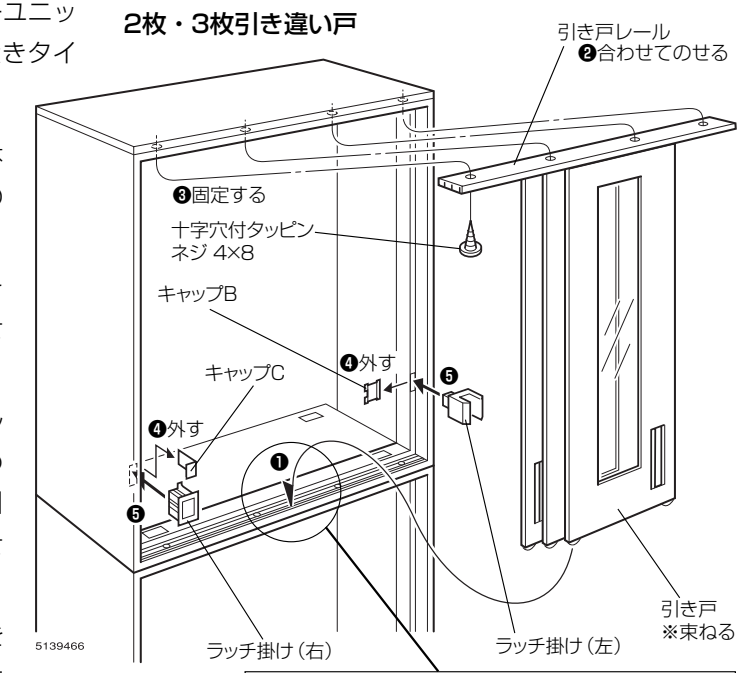
2. 束ねた引き戸を本体の引き戸レールにのせてください。

3. 引き戸の上部に引き戸レールを合わせて、のせてください。

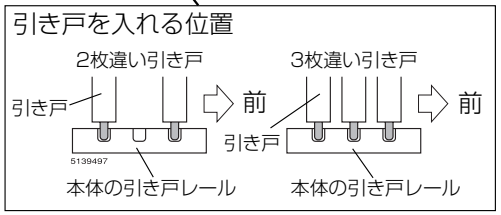
4. 上部の引き戸レールを、本体天板に合わせて、ネジで固定（引き戸をスライドさせて）してください。

5. 本体からキャップを外し、ラッチ掛け（左・右）を取り付けてください。

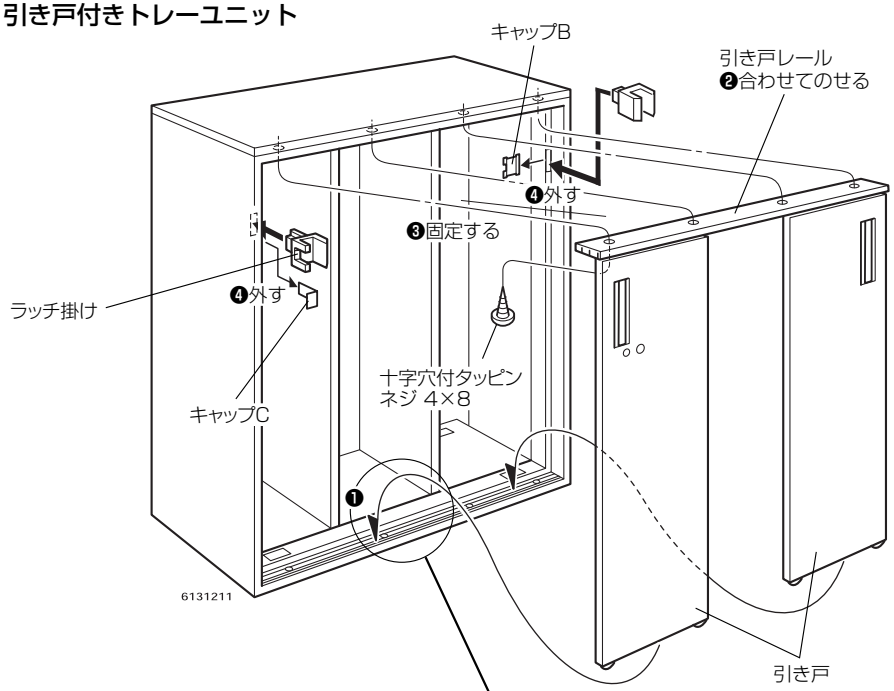
2枚・3枚引き違い戸

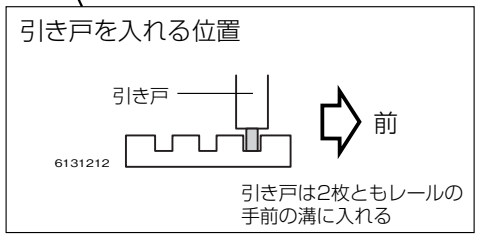


〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)



引き戸付きトレーユニット





11.棚板の取り付けかた

⑨ページの6の要領で、収納庫本体に棚爪・棚板を取り付けてください。

12.組立後の確認

全体のレベル、扉の閉め合わせやボルト・ネジのゆるみがないか確認してください。
確認後、必要に応じて調整してください。

1 レベル調整

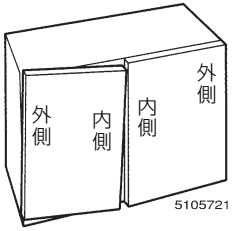
L型六角レンチを本体底板の□穴に入れ、アジャスターを調節して、レベルを調整してください。(㉗ページの〈レベル調整〉を参照)

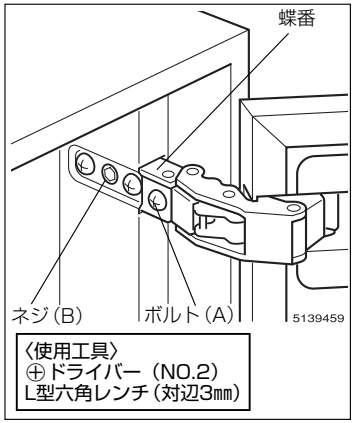
2 扉調節のしかた

蝶番のボルト (A)・ネジ (B) を、下記のように調節して、扉を調節してください。

〈扉を外側に移動させる場合〉

ボルト (A) をゆるめ [反時計回り]、ネジ (B) を**時計回り**に回してください。
調節後、ボルト (A) を締め込んでください。





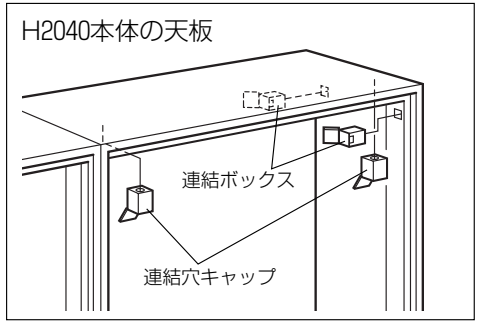
〈使用工具〉
⊕ドライバー (NO.2)
L型六角レンチ (対辺3㎜)

〈扉を内側に移動させる場合〉

ボルト (A) をゆるめ [反時計回り]、ネジ (B) を**反時計回り**に回してください。
調節後、ボルト (A) を締め込んでください。

13.キャップ類の取り付けかた

連結していない面 (天板・側板の内側) の□穴には連結ボックス、底板の□穴にはアジャスターキャップを、H2040本体の天板□穴には連結穴キャップを、それぞれ取り付けてください。



※本体連結や部品の取り付けによって、余った部材やキャップ類は、底板の下に収納しておいてください。